

平成30年度（2018年度）

市民意識調査結果報告書



平成30年11月
南丹市企画政策部 定住・企画戦略課

I アンケート調査の概要

1	調査目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査方法.....	1
4	調査期間.....	1
5	配布状況.....	1
6	調査項目.....	2

II アンケート調査結果

1	回答者の属性.....	3
2	市民意識調査結果	
1	南丹市は住みやすいまちだと思うか.....	8
2	南丹市は住みやすいと思う理由.....	9
3	南丹市は住みにくいと思う理由.....	11
4	今後も南丹市に住み続けたいか.....	13
5	南丹市が市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか.....	14
6	過去1年間で、地域活動や市民による自主的な活動に参加したか.....	15
7	風習や伝統、文化などを自分たちが引き継いでいかなければならないと思うか.....	16
8	大学や民間企業などとの交流・連携が活発に行われていると思うか.....	17
9	安心して子育てのできるまちだと思うか.....	18
10	地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思うか.....	20
11	子どもたちが、適切な教育環境で学んでいると思うか.....	22
12	乳幼児への保育・教育が充実していると思うか.....	24
13	安心して医療を受けられる体制ができていると思うか.....	26
14	高齢の方にとって、安心して暮らせるまちだと思うか.....	28
15	障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思うか.....	30
16	妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思うか.....	32
17	南丹市の商店街はにぎわっていると思うか.....	34
18	南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入しているか.....	35
19	南丹市において、自然環境が適切に守られていると思うか.....	36
20	南丹市において、美しい景観が適切に守られていると思うか.....	37
21	南丹市において、建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思うか.....	38
22	防災の面で、安心して暮らせるまちだと思うか.....	39

目次

23) 災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などを行っているか	40
24) 災害に関する情報について市からの的確に発信される体制が整備されていると思うか ..	41
25) 性別や国籍、障がいなどによる差別が減っていると感じるか	42
26) 過去1年間に、人権問題に関する勉強会などに参加したことがあるか	43
27) 税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思うか	44
28) 市政についての情報が的確に得られていると感じるか	46
29) 市役所のサービスを利用する際、どこをよく利用するか	47
30) よく利用するサービスは何か	48
31) 窓口サービスの待ち時間、対応時間はどうか	49
32) 窓口の場所、案内表示はわかりやすいか	50
33) 定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきか	51
34) 総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか	53
35) 南丹市のまちづくりに対する提案や意見	55

《参考資料》 市民意識調査 調査票



Ⅰ アンケート調査の概要

1 調査目的

本調査は、第2次南丹市総合振興計画の推進にあたり、市民の意見を直接聞き取ることにより、第2次南丹市総合振興計画の進捗状況や市民ニーズの把握に活用することを目的とする。

2 調査対象

南丹市に住む18歳以上の市民から2,500人を無作為に抽出

3 調査方法

郵送配布・郵送回収

4 調査期間

平成30年7月30日～平成30年8月17日

5 配布状況

年 代	性別	アンケート送付数														
		園部			八木			日吉			美山			計		
		均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計
18、19歳	男	20	50	70	20	29	49	20	15	35	20	4	24	80	98	178
	女	20	60	80	20	23	43	20	18	38	17	0	17	77	101	178
20歳代	男	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
	女	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
30歳代	男	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
	女	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
40歳代	男	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
	女	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
50歳代	男	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
	女	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
60歳代	男	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
	女	20	47	67	20	26	46	20	15	35	20	11	31	80	99	179
70歳代以上	男	20	46	66	20	25	45	20	15	35	20	11	31	80	97	177
	女	20	46	66	20	25	45	20	15	35	20	11	31	80	97	177
計	男	140	331	471	140	184	324	140	105	245	140	70	210	560	690	1,250
	女	140	341	481	140	178	318	140	108	248	137	66	203	557	693	1,250
合 計		280	672	952	280	362	642	280	213	493	277	136	413	1,117	1,383	2,500

	送付数（A）	有効回収数（B）	回収率（B/A）
今回調査 （平成30年度）	2,500通	844件	33.8%
平成29年度調査	2,500通	683件	27.3%

6 調査項目

1. 南丹市全般について
2. まちづくりへの参加について
3. 子育てについて
4. 医療・福祉について
5. 商業や生活環境について
6. 防災について
7. 人権問題について
8. 行政サービスについて
9. まちづくりについての意見・提案

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していない場合があります。



IIアンケート調査結果

1 回答者の属性

配布数：2,500人 回答数：844人（回答率33.8%）

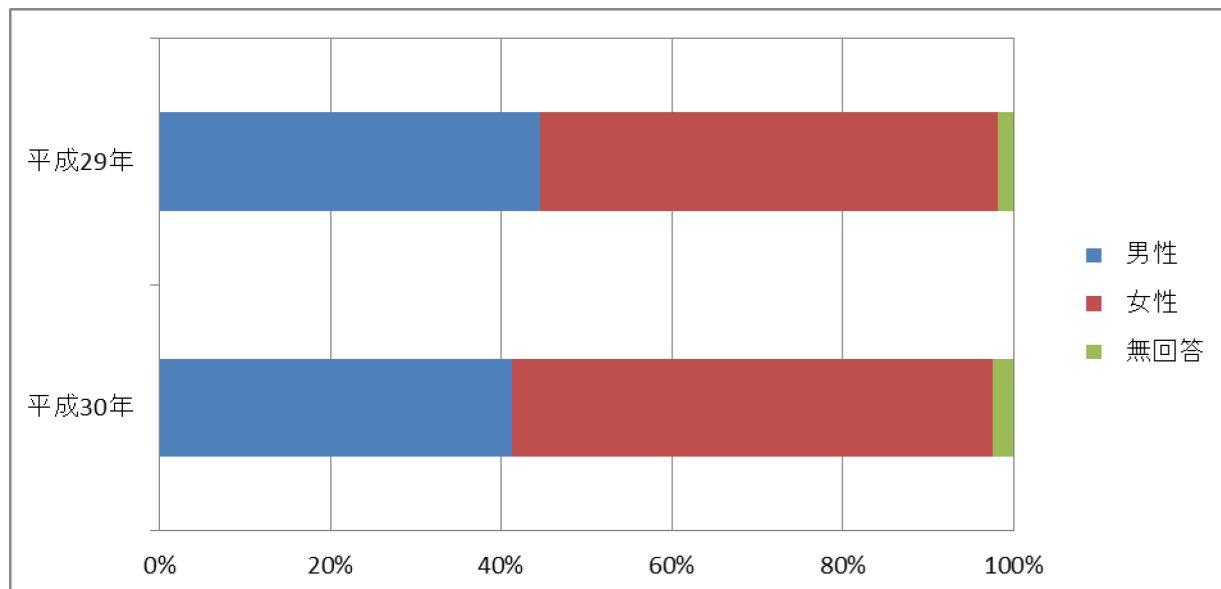
今回実施した市民意識調査の回答率は、平成29年度調査より6.5ポイント増加となりました。

男女別・年代別に見ると、女性からの回答が男性よりも多くなっています。また、男女ともに70歳以上の回答が最も多く、次いで60歳代と、年代の上昇に伴って回答率が高くなりました。

また、回答者の6割が20年以上南丹市にお住まいの方でしたが、平成29年度調査と比較して、10年未満の方からの回答が増えました。

性別

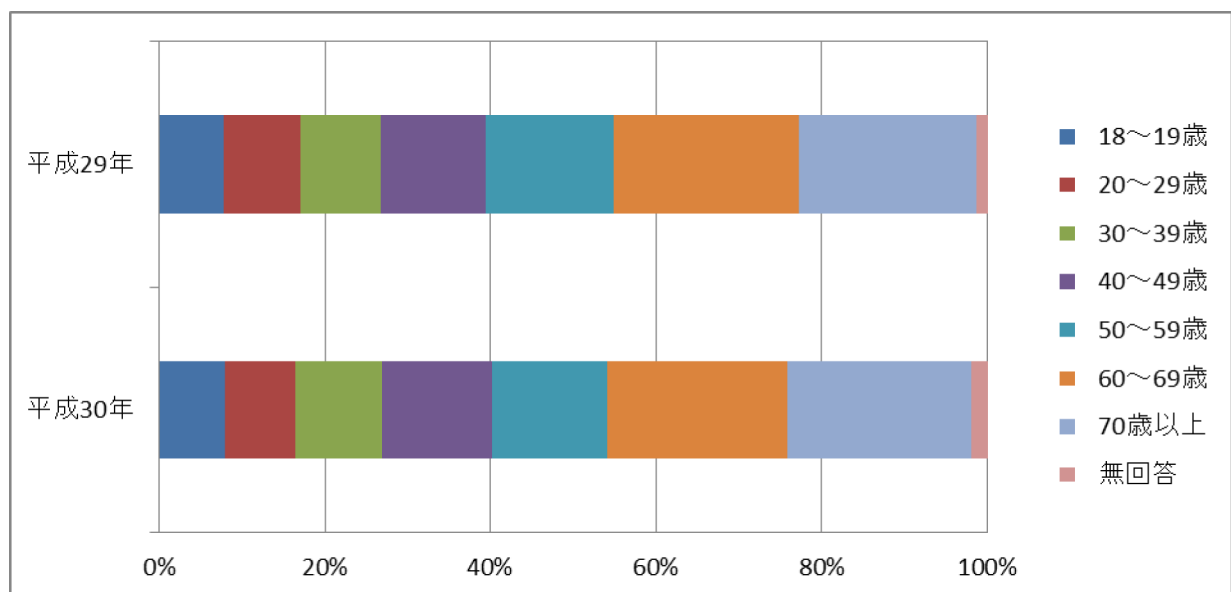
選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	304	44.5	348	41.2
女性	367	53.7	475	56.3
無回答	12	1.8	21	2.5
合計	683	100.0	844	100.0



II アンケート調査結果

◆	年齢
---	----

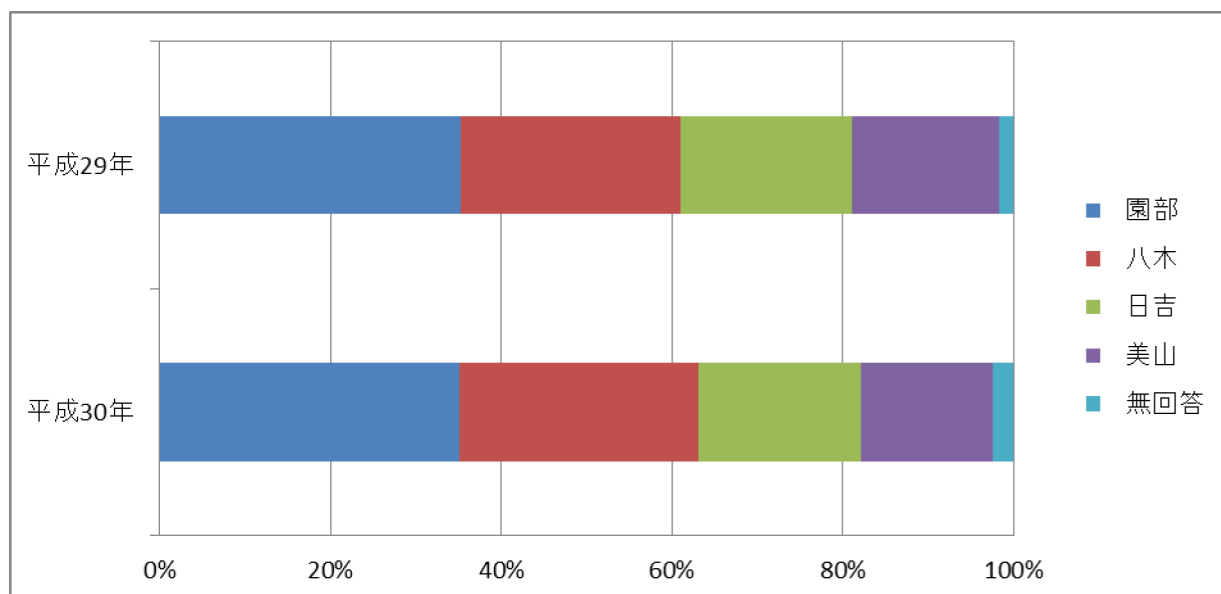
選 択 肢	平成29年		平成30年		
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)	回答率(%)
18～19歳	53	7.8	67	7.9	18.8
20～29歳	63	9.2	73	8.6	20.4
30～39歳	67	9.8	89	10.5	24.9
40～49歳	87	12.7	111	13.2	31.0
50～59歳	105	15.4	117	13.9	32.7
60～69歳	152	22.3	183	21.7	51.1
70歳以上	147	21.5	188	22.3	53.1
無回答	9	1.3	16	1.9	—
合計	683	100.0	844	100.0	33.8



II アンケート調査結果

住所

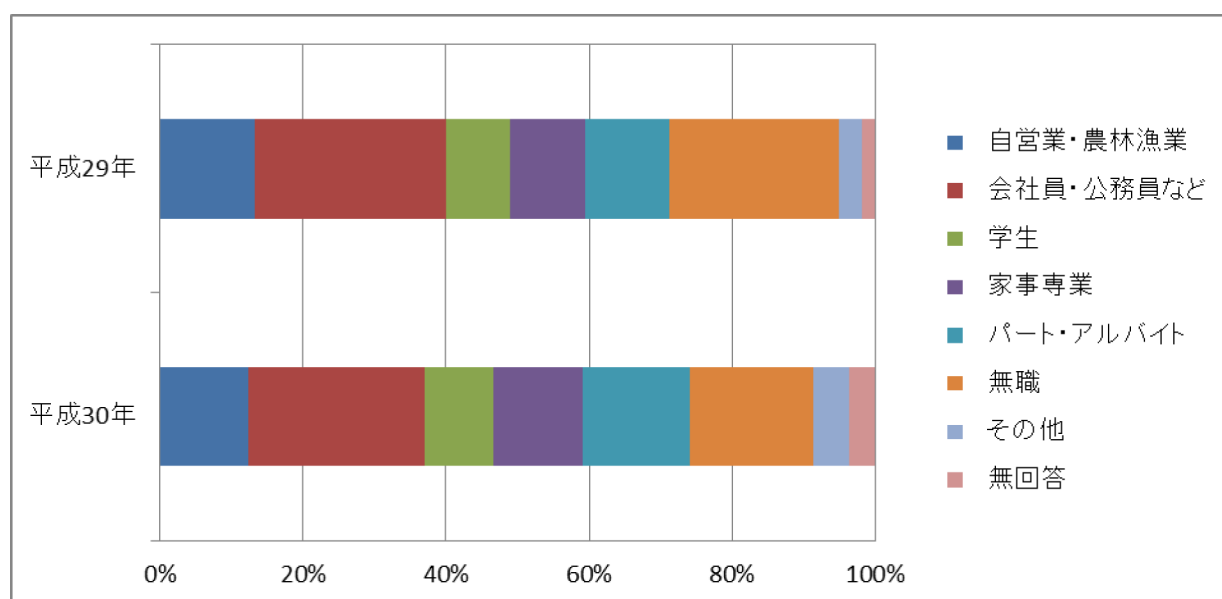
選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
園部	241	35.3	296	35.1
八木	176	25.8	237	28.1
日吉	137	20.1	160	19.0
美山	118	17.3	131	15.5
無回答	11	1.6	20	2.4
合 計	683	100.0	844	100.0



II アンケート調査結果

職業

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自営業・農林漁業	91	13.3	105	12.4
会社員・公務員など	182	26.6	207	24.5
学生	61	8.9	82	9.7
家事専業	72	10.5	105	12.4
パート・アルバイト	80	11.7	127	15.0
無職	162	23.7	146	17.3
その他	22	3.2	41	4.9
無回答	13	1.9	31	3.7
合 計	683	100.0	844	100.0

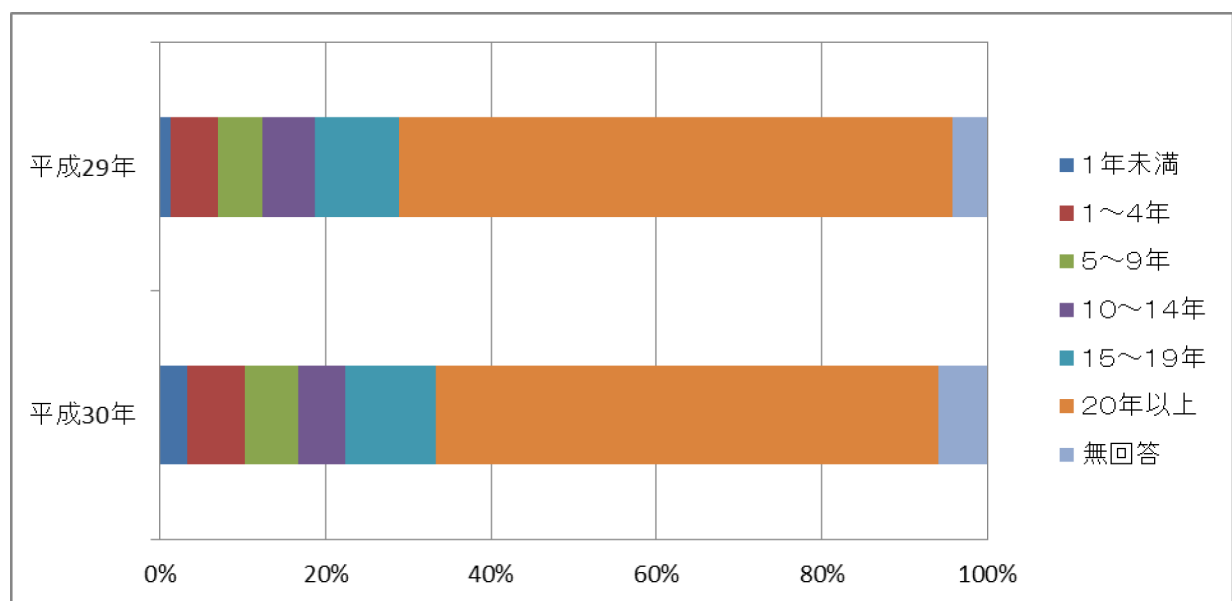


■ ■ アンケート調査結果



居住年数

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1年未満	9	1.3	28	3.3
1～4年	39	5.7	59	7.0
5～9年	37	5.4	54	6.4
10～14年	43	6.3	48	5.7
15～19年	70	10.2	92	10.9
20年以上	456	66.8	513	60.8
無回答	29	4.2	50	5.9
合計	683	100.0	844	100.0



II アンケート調査結果

2 市民意識調査結果

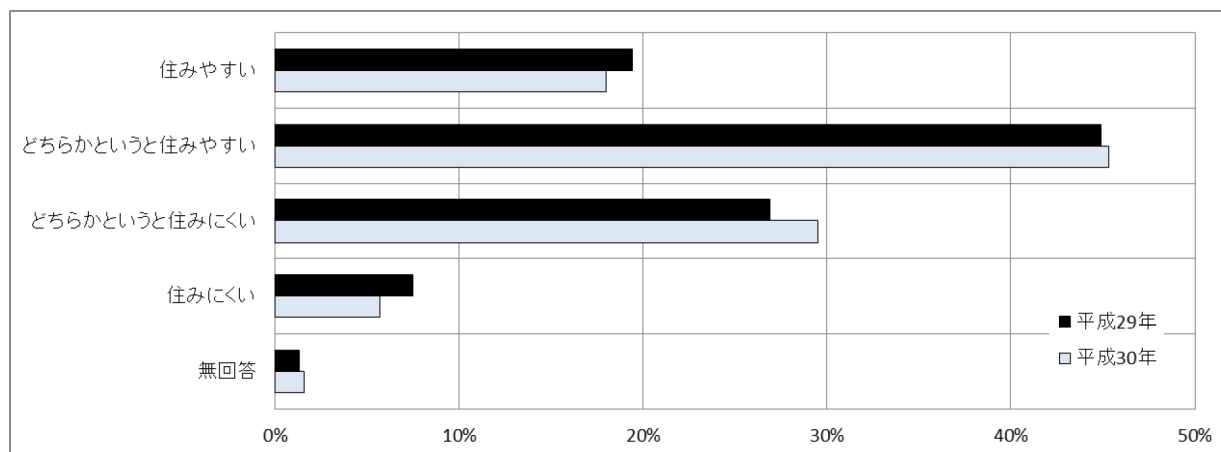
■調査結果の見方

◎この調査結果は、平成29年度に実施した同様のアンケート調査の結果を並べて比較したものです。

1

南丹市は住みやすいと思いますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
住みやすい	132	19.4	152	18.0
どちらかというに住みやすい	307	44.9	382	45.3
どちらかというに住みにくい	184	26.9	249	29.5
住みにくい	51	7.5	48	5.7
無回答	9	1.3	13	1.6
合計	683	100.0	844	100.0



市民の6割以上が「南丹市は住みやすい」と回答

「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方は63.3%であり、一方、「どちらかというに住みにくい」または「住みにくい」と回答された方は35.2%と、前年度の調査と比較して、「住みにくい」と感じる方が0.8ポイント増加しました。

地域別にみると、「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方は日吉・美山よりも園部・八木で多くなっています。

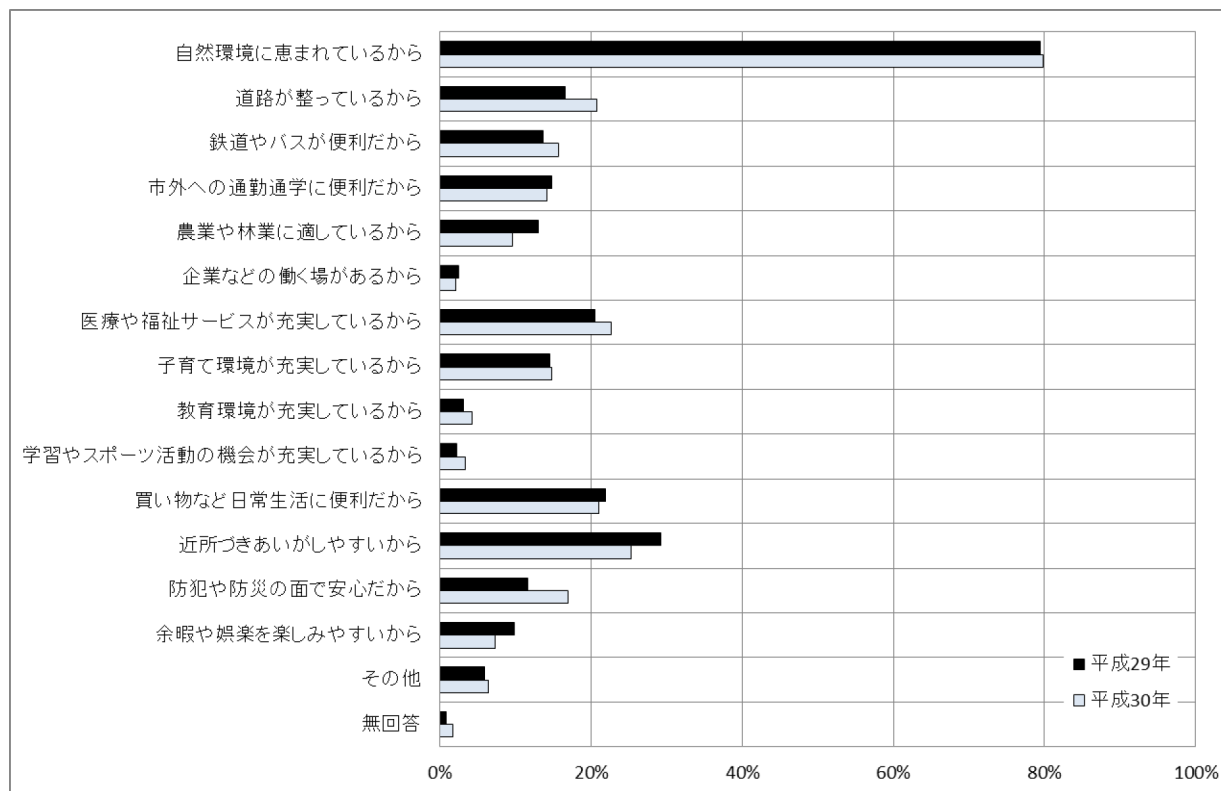
また、年代別でみると、若者より高齢の方で「住みやすい」との回答が多くなっています。

アンケート調査結果

2

住みやすいと思う理由は何ですか？《3つまで選択》

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自然環境に恵まれているから	349	79.5	426	79.8
道路が整っているから	73	16.6	111	20.8
鉄道やバスが便利だから	60	13.7	84	15.7
市外への通勤通学に便利だから	65	14.8	76	14.2
農業や林業に適しているから	57	13.0	51	9.6
企業などの働く場があるから	11	2.5	11	2.1
医療や福祉サービスが充実しているから	90	20.5	121	22.7
子育て環境が充実しているから	64	14.6	79	14.8
教育環境が充実しているから	14	3.2	23	4.3
学習やスポーツ活動の機会が充実しているから	10	2.3	18	3.4
買い物など日常生活に便利だから	96	21.9	112	21.0
近所づきあいがしやすいから	128	29.2	135	25.3
防犯や防災の面で安心だから	51	11.6	91	17.0
余暇や娯楽を楽しみやすいから	43	9.8	39	7.3
その他	26	5.9	34	6.4
無回答	4	0.9	9	1.7
回答者数	439	—	534	—



住みやすい理由は「自然環境」が最多

南丹市は「住みやすい」または「どちらかというに住みやすい」と回答された方について、その理由は「自然環境に恵まれているから」が79.8%と最も多く、次いで「近所づきあいがしやすいから」が25.3%、「医療や福祉サービスが充実しているから」が22.7%となりました。

また、前年度の調査と比較すると、「道路が整っているから」、「防犯や防災の面で安心だから」との回答が増加しました。

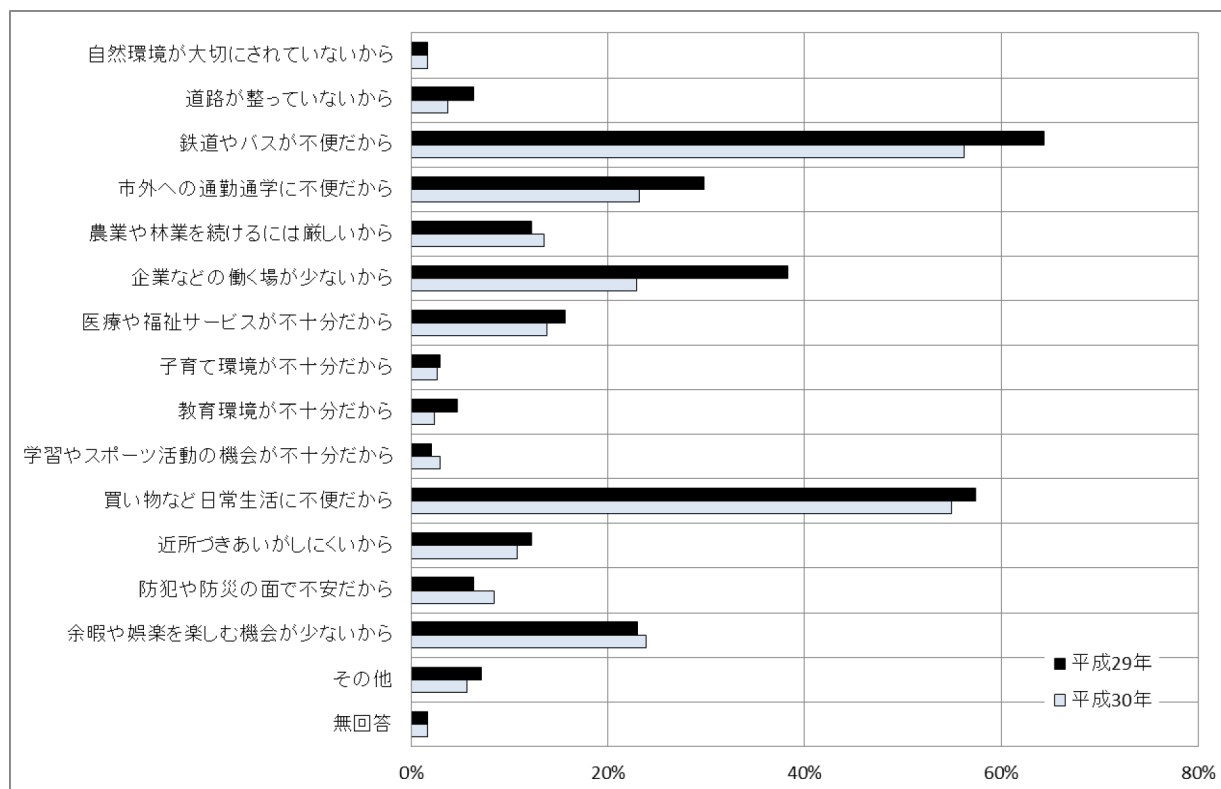
地域別にみると、園部では「買い物など日常生活に便利だから」、八木では「医療や福祉サービスが充実しているから」、日吉では「防犯や防災の面で安心だから」、美山では「近所づきあいがしやすいから」が、それぞれ他の地域よりも多くなっています。

アンケート調査結果

3

住みにくいと思う理由は何ですか？《3つまで選択》

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自然環境が大切にされていないから	4	1.7	5	1.7
道路が整っていないから	15	6.4	11	3.7
鉄道やバスが不便だから	151	64.3	167	56.2
市外への通勤通学に不便だから	70	29.8	69	23.2
農業や林業を続けるには厳しいから	29	12.3	40	13.5
企業などの働く場が少ないから	90	38.3	68	22.9
医療や福祉サービスが不十分だから	37	15.7	41	13.8
子育て環境が不十分だから	7	3.0	8	2.7
教育環境が不十分だから	11	4.7	7	2.4
学習やスポーツ活動の機会が不十分だから	5	2.1	9	3.0
買い物など日常生活に不便だから	135	57.4	163	54.9
近所づきあいがしにくいから	29	12.3	32	10.8
防犯や防災の面で不安だから	15	6.4	25	8.4
余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから	54	23.0	71	23.9
その他	17	7.2	17	5.7
無回答	4	1.7	5	1.7
回答者数	235	—	297	—



住みにくい理由は「鉄道・バス」や「買い物」の不便さ

南丹市は「住みにくい」または「どちらかというに住みにくい」と回答された方について、その理由は「鉄道やバスが不便だから」が56.2%と最も多く、次いで「買い物など日常生活に不便だから」が54.9%、「余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから」が23.9%、「市外への通勤・通学に不便だから」が23.2%となりました。

また、前年度の調査と比較すると、「鉄道やバスが不便だから」や「企業などの働く場が少ないから」などの回答は減少しました。

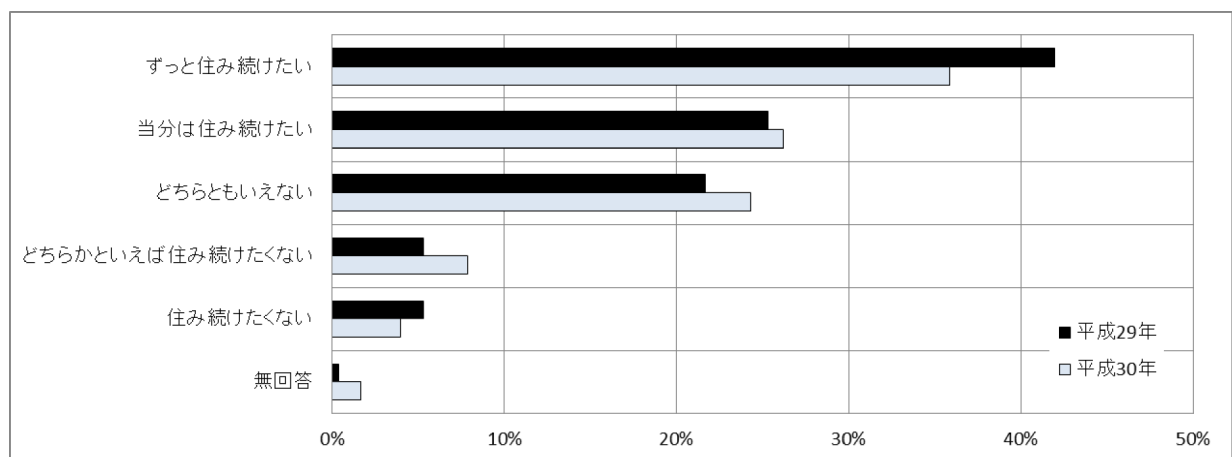
地域別にみると、園部では「余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから」、八木では「市外への通勤通学に不便だから」、日吉では「鉄道やバスが不便だから」、美山では「医療や福祉サービスが不十分だから」が、それぞれ他の地域よりも多くなっています。

II アンケート調査結果

4

あなたは、今後も南丹市に住み続けたいですか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ずっと住み続けたい	287	42.0	303	35.9
当分は住み続けたい	173	25.3	221	26.2
どちらともいえない	148	21.7	205	24.3
どちらかといえば住み続けたくない	36	5.3	67	7.9
住み続けたくない	36	5.3	34	4.0
無回答	3	0.4	14	1.7
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の6割以上が「南丹市に住み続けたい」と回答

「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答された方は62.1%と、市民の6割以上の方は南丹市に「住み続けたい」と回答されました。

一方、「ずっと住み続けたい」と回答された方の割合は前年度の調査と比較して6.1ポイント減少しました。

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ、「ずっと住み続けたい」と回答された方の割合が増えています。

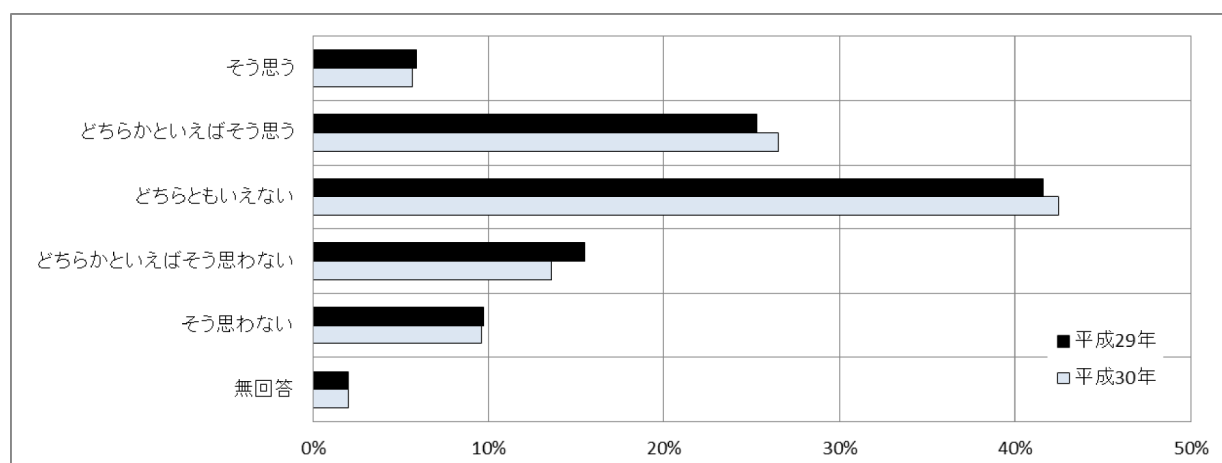
なお、地域別による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

5

あなたは、南丹市が市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われるか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	40	5.9	48	5.7
どちらかといえばそう思う	173	25.3	224	26.5
どちらともいえない	284	41.6	359	42.5
どちらかといえばそう思わない	106	15.5	115	13.6
そう思わない	66	9.7	81	9.6
無回答	14	2.0	17	2.0
回答者数	683	100.0	844	100.0



市民の3割以上が「南丹市では協働してまちづくりに取り組んでいる」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は32.2%と、前年度の調査と比較して1.0ポイント増加しました。

性別でみると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は男性よりも女性の方が高くなっています。

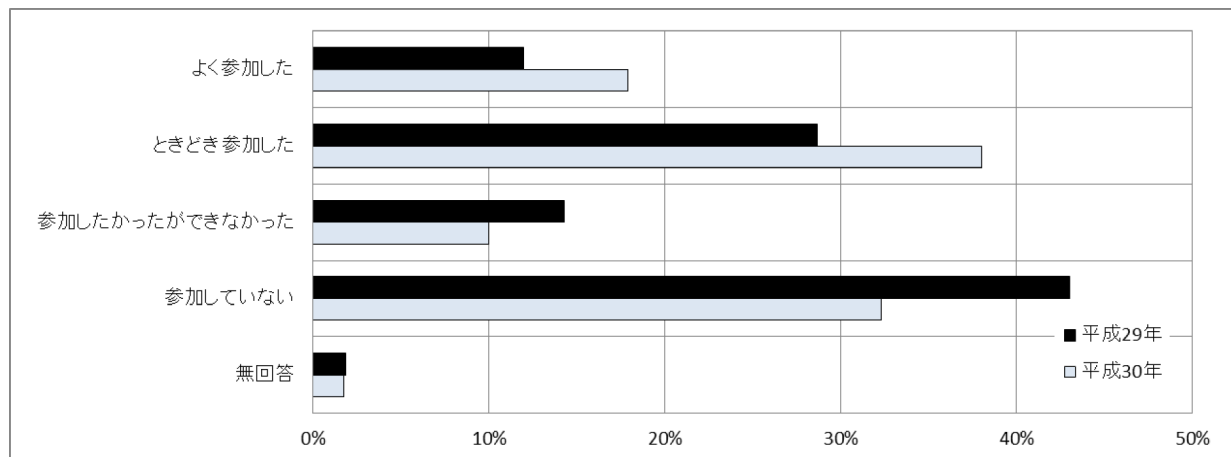
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

6

あなたは、過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よく参加した	82	12.0	151	17.9
ときどき参加した	196	28.7	321	38.0
参加したかったができなかった	98	14.3	84	10.0
参加していない	294	43.0	273	32.3
無回答	13	1.9	15	1.8
回答者数	683	100.0	844	100.0



市民の半数以上の人地域におけるさまざまな活動に「参加している」と回答

「よく参加した」または「ときどき参加した」と回答された方は、前年度の調査と比較して15.2%増加し、市民の半数以上となる55.9%となりました。

年齢別でみると、「参加した」と回答した人の割合は、10代、20代では低く、逆に60代、70歳以上では高くなる傾向となっています。

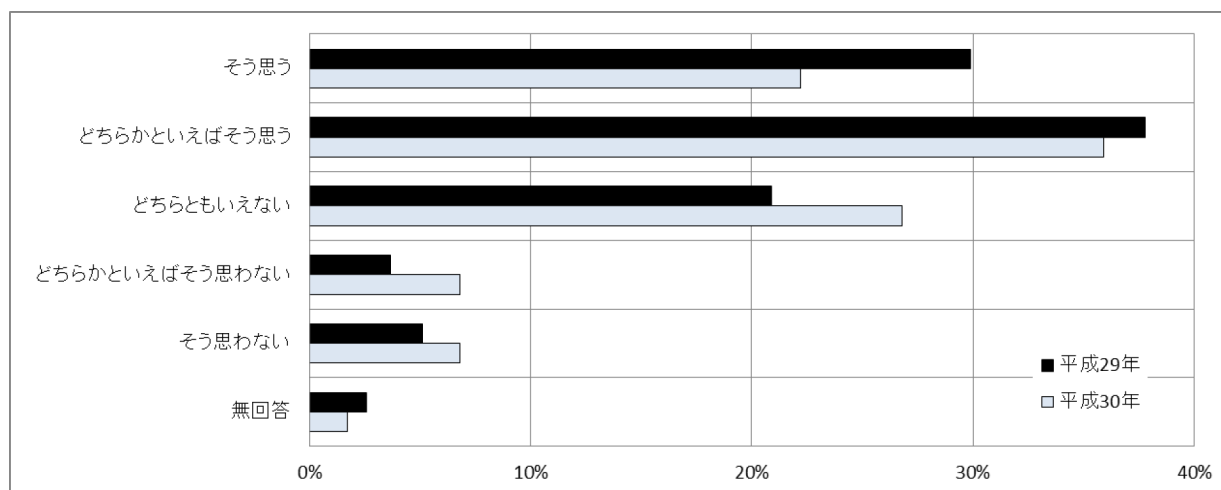
また、地域別にみると、「参加した」と回答した人の割合は、園部・八木よりも日吉・美山の方が多くなり、地域での差が見られます。

II アンケート調査結果

7

あなたは、地域で培われてきた風習や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	204	29.9	187	22.2
どちらかといえばそう思う	258	37.8	303	35.9
どちらともいえない	143	20.9	226	26.8
どちらかといえばそう思わない	25	3.7	57	6.8
そう思わない	35	5.1	57	6.8
無回答	18	2.6	14	1.7
回答者数	683	100.0	844	100.2



市民の約6割が「地域の風習などを引き継いでいくべきだ」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は58.1%と、約6割の市民の方が、伝統や文化を引き継ぐ気持ちを持っていると考えられますが、前年度の調査と比較して、9.6ポイント減少しました。

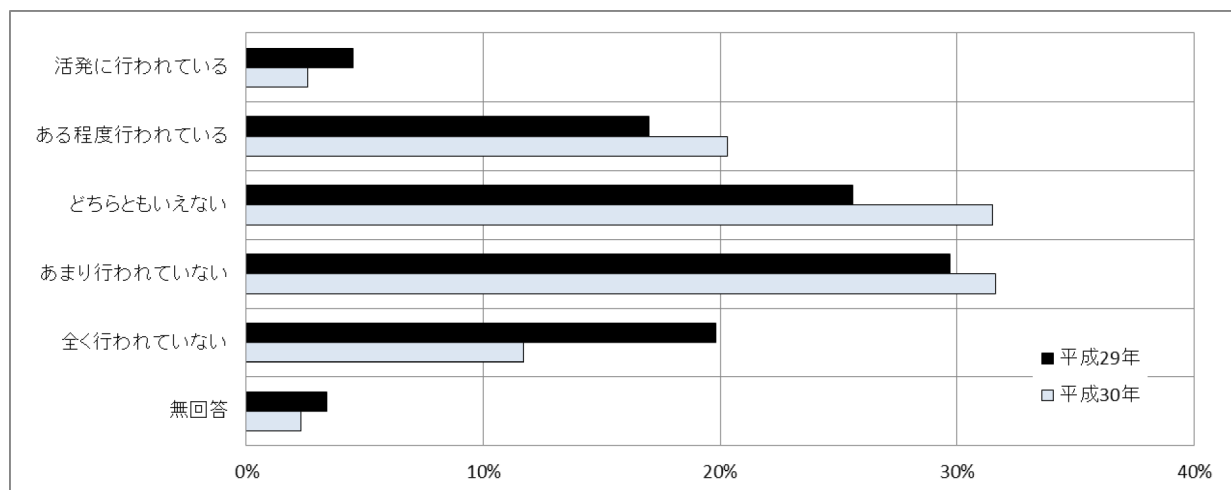
年齢別に見ると、70歳以上の方で、「そう思う」と回答された方が他の年代に比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

8

あなたは、ご自身の住んで入る地域で、大学や民間企業などのさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
活発に行われている	31	4.5	22	2.6
ある程度行われている	116	17.0	171	20.3
どちらともいえない	175	25.6	266	31.5
あまり行われていない	203	29.7	267	31.6
全く行われていない	135	19.8	99	11.7
無回答	23	3.4	19	2.3
回答者数	683	100.0	844	100.0



企業・大学との交流・連携が進みつつある

「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方の割合は、22.9%と、前年度の調査と比較して1.4ポイント増加しました。一方、「あまり行われていない」または「全く行われていない」と回答された方の割合は、前年度調査よりも6.2ポイント減少しています。「全く行われていない」と回答された方の割合に限ってみると、前年度調査よりも8.1ポイント減少しており、企業・大学との交流・連携が進みつつあるものと考えられます。

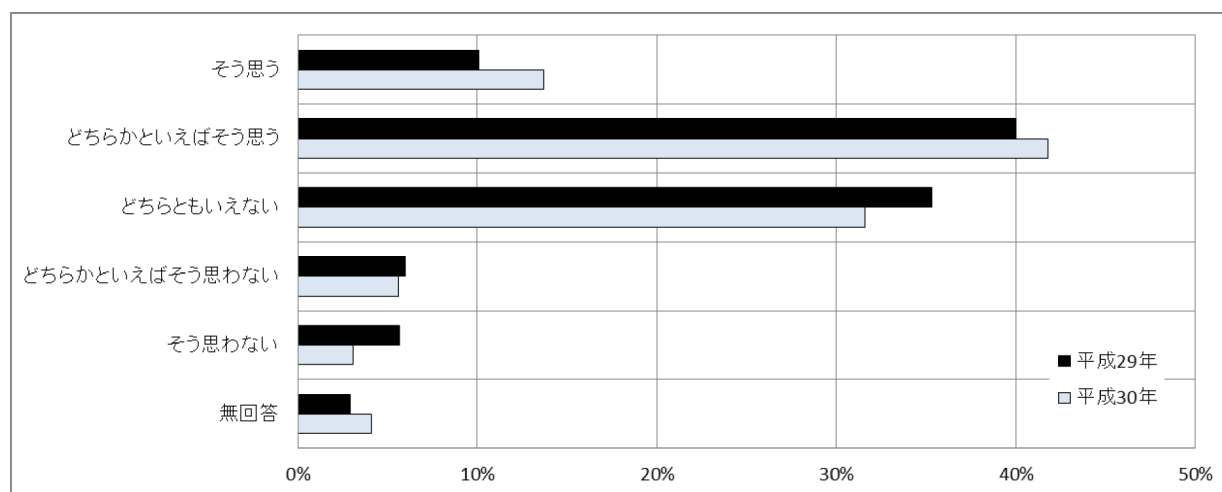
地域別にみると、「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方の割合は、美山が一番多く、地域間での差が見受けられます。

II アンケート調査結果

9-1

あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思えますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	69	10.1	116	13.7
どちらかといえばそう思う	273	40.0	353	41.8
どちらともいえない	241	35.3	267	31.6
どちらかといえばそう思わない	41	6.0	47	5.6
そう思わない	39	5.7	26	3.1
無回答	20	2.9	35	4.1
合計	683	100.0	844	100.0



問9で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 幼児、子どもが遊ぶ公園や広場が整備されていないから。遊具が老朽化、点検も不十分であり、整備するための補助金を検討してほしい。
- 人数が少なく、競争力がない。
- 学校統合により遠距離通学となり、その際の事故や災害、冬季の大雪などが心配。
- 若者が市外へ出ていくばかりで子どもの人口が減少している。
- 小さな子どもが遊ぶ場所が少ない（支援センターなどはあるが、小さめの遊具が少なく、体を動かせない）。
- 保育施設が少なく、土・日・祝にあずけられない。
- 病院が遠く、緊急の場合に困る。
- 自分の住んでいる地域が国道沿いで、夜中トラックの走行音が大変うるさく交通量も多いため、危険。
- イベント時に歩きたばこをする人が多いので子どもが出来てもイベントに連れていけない。
- 子育て世代が少なすぎて相談相手がいない。
- 安心して子育てのできるサービス（保育所・医療等）が十分に整っていないから。
- 子どもの遊んでいる声が聞こえないのは遊び場がないからではないか。運動場もいいが、憩いの場があってもいいのではないか。
- 通学の歩道がない。
- 子どもが少ないので、車で送ってあげないと友達の家に行けないことが多い。
- クマが近所に出る。
- 小児科がない。
- 救急で子どもを見てももらえないことがある。
- 両親が働いている場合の子どもの預け場所がない。学童は場所が一か所で、時間に迎えにも行けず、働けないと子どもが育てられない。

市民の半数以上が「安心して子育てのできるまちだ」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は55.5%と、前年度の調査と比較して5.4ポイント増加しました。また「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は8.7%と、前年度調査よりも3ポイント減少しており、「安心して子育てのできるまち」との意見が増加しました。

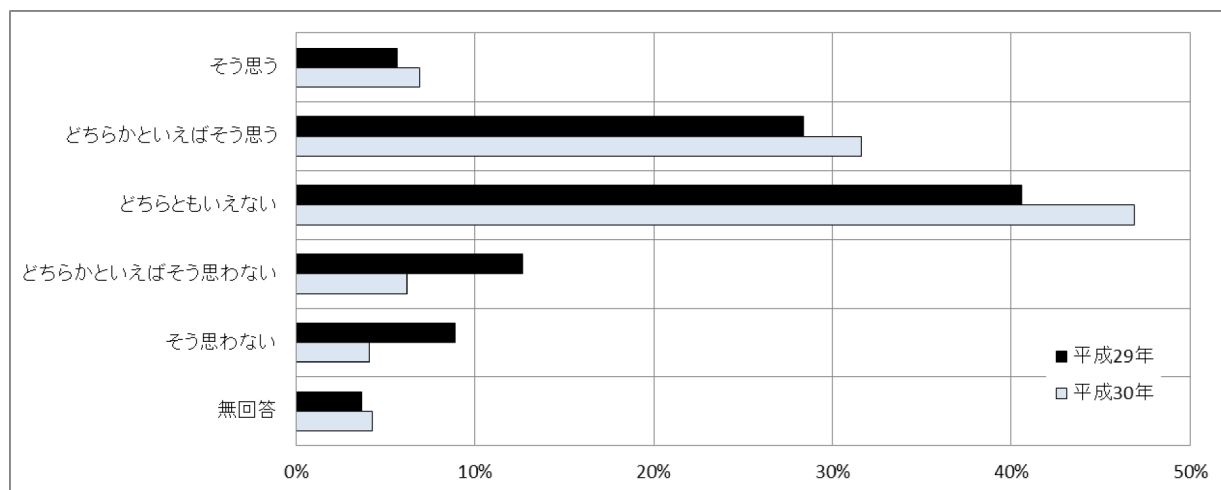
居住年数別でみると、居住年数が1年未満や1年～4年の方のほうが、20年以上の方よりも「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答される割合が高くなっています。

■ ■ アンケート調査結果

10-1

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりが出来ていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	39	5.7	58	6.9
どちらかといえばそう思う	194	28.4	267	31.6
どちらともいえない	277	40.6	396	46.9
どちらかといえばそう思わない	87	12.7	52	6.2
そう思わない	61	8.9	35	4.1
無回答	25	3.7	36	4.3
合 計	683	100.0	844	100.0



問10で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- あいさつや見守り程度のことはしているつもりだが、それ以上のことをするべきなのか、してもらいたがっているのかわからない。
- 地域にはほかに子育てをする家庭がなく、どちらかという地域の中では孤立しているように感じるから。
- 子育て支援団体はあるが、全体に行き届いた活動とはいえない。
- 地域が子育てを支援しているとはあまり感じない（特に乳児・幼児期）。
- スクールバスがない。
- 過疎化になりつつある。学校が廃校になり、若い人が住みにくくなり子どももいなくなってきた。
- 地域の大人が子どもと関わる機会がない。
- 近くに小学校があるが子どもたちが昔よりも挨拶をしなくなった。
- 子育てを支援する仕組みは十分でないと思う。自分たちでコミュニティを作り助け合いをしている状態。移住者には支援があるのかないのかも分からない。
- 全体的に子どもの数が少なくなってきたので地域での支援組織が成り立っていない。
- 子育て世代とそうでない世代との隔離が生じている。地域全体での子育てになっていない。地区内、地区外を含め世代間の交流が必要。
- 若い世代が少なく、相談も出来ない。
- 地域での行事がどんどんなくなってきて（特に子ども会の行事）、子どもが地域の人と顔を合わす機会が減った。
- 地域の高齢化により子育て支援できる人材が不足している。
- 子どもが少なすぎて、他人事のようになっている。子どものための活動をして参加者が出ない。
- 子どもが増えている地域に住んでいるが、子ども会など特に活発に行われることはなく地域全体で子育てを支援する仕組みはできていない。

地域全体で子育てを支援する仕組みづくりが進みつつある

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は38.5%と、前年度の調査と比較して4.4ポイント増加しました。また「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は10.3%と、前年度調査よりも11.3ポイント減少しており、「地域全体で子育てを支援する仕組みづくり」が進みつつあるものと考えられます。

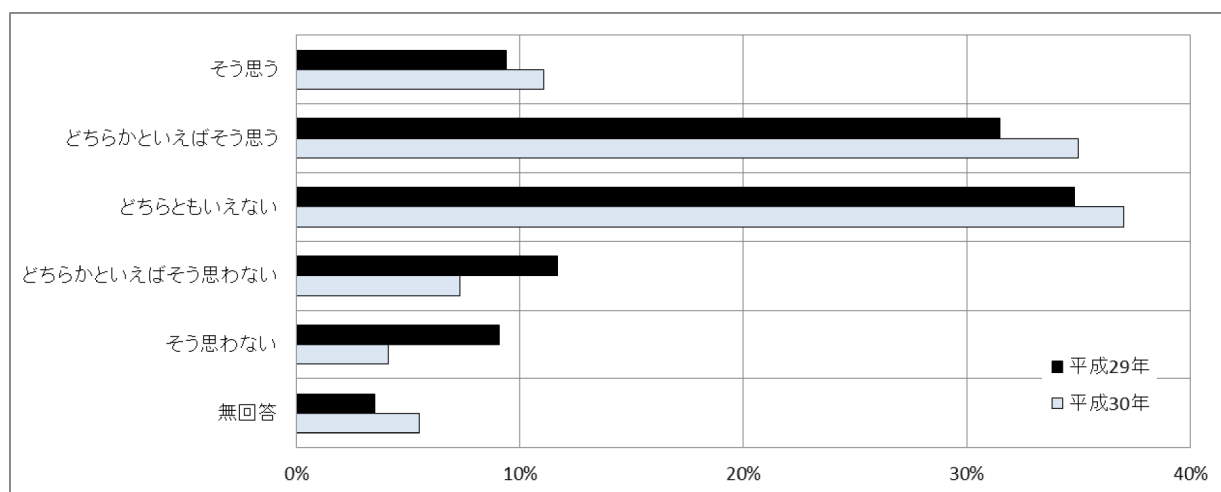
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

1 1-1

あなたは、児童数や生徒数、施設の状況を踏まえ、子どもたちが適切な教育環境で学んでいると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	64	9.4	94	11.1
どちらかといえばそう思う	215	31.5	295	35.0
どちらともいえない	238	34.8	312	37.0
どちらかといえばそう思わない	80	11.7	62	7.3
そう思わない	62	9.1	35	4.1
無回答	24	3.5	46	5.5
合 計	683	100.0	844	100.0



問11で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 統廃合が行われ、バスで通学している児童が多く、自由な時間が限られると思う。
- 子どもの人数が少なすぎるため、たとえば団体でやるクラブ活動などができない。
- 田舎であるにもかかわらず待機児童が発生している。
- 人数に対して保育室や教室が狭い。
- 学校内の整備をもう少し整えてほしい。児童数や生徒数に関係なくトイレの洋式化、グラウンド整備、プール時の外の更衣室の環境を整え、教育に専念できるようにしてほしい
- 少子化となり、子ども同士で遊ぶ機会の減少、施設も十分になく適切な教育環境ではない。
- 児童・生徒の学力が一番伸びる学級の人数は10～15人とされているが、児童・生徒の学力を伸ばしたいのであれば1学級の人数を減らすなど工夫が必要だと思われる。
- 発達障がいがあって、医療機関で支援学級へ行った方が、本人のためといわれ学校に申し込んだが、学級がいっぱいとのことで断られた。iPadも保護者もち。字が書けない読めない子どものために配慮がないと感じたから。
- 学校の児童・生徒の数に差がありすぎ。
- 日吉町在住で子どもが幼児だが、近くに保育所しかない。幼稚園に入れるには園部まで送る必要があり、不便。保育所だけでは教育が不十分に思うこともある。園部に集中していて、置いてけぼり感を感じるから。
- バス通学では乗降場所の確保ができていないから。事故が起きてからでは遅い。責任は取ってもらえるのか。学校や教育委員会に訴えているが、聞いてもらえず何も進展がない。
- 都市部に比べ、学習塾など校外学習環境が不足している。
- 夢かなえ橋周辺の街灯が少なすぎるので夜は危険。
- 支援学級が少ない。
- 学校が遠い。夏休みの自由研究用材料や自主学習用教材など、子どもが自分で手に入れられるものが少ない。せっかく自然が多いのに生かす機会が少ない。

市民の4割以上が「子どもたちが適切な教育環境で学んでいる」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は46.1%と、前年度の調査と比較して5.2ポイント増加しました。また「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」回答された方の割合は11.4%と、前年度調査よりも9.4ポイント減少しており、「子どもたちが適切な教育環境で学んでいる」と考える方が増加しました。

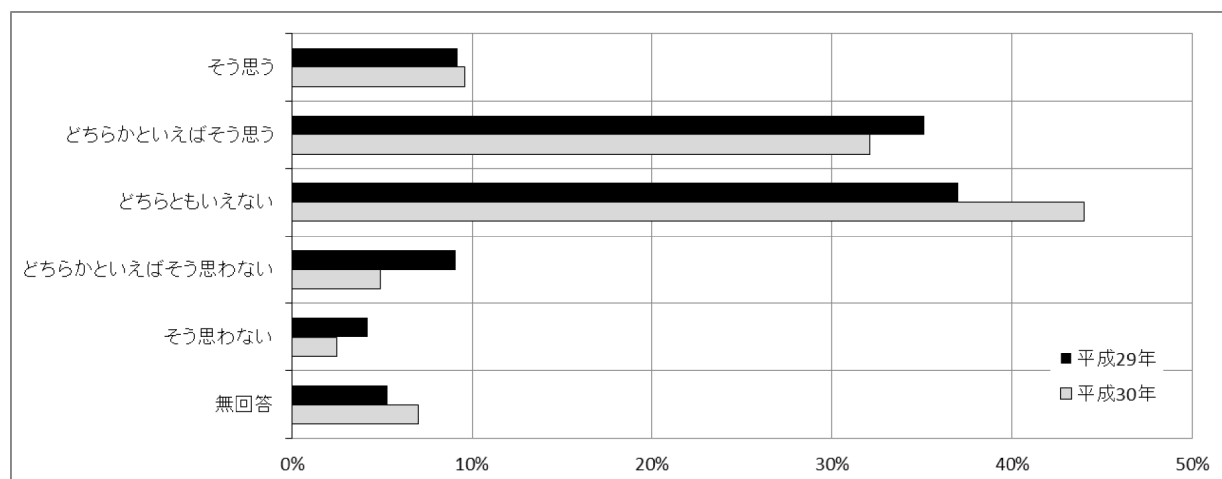
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

12-1

あなたは、南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	63	9.2	81	9.6
どちらかといえばそう思う	240	35.1	271	32.1
どちらともいえない	253	37.0	371	44.0
どちらかといえばそう思わない	62	9.1	41	4.9
そう思わない	29	4.2	21	2.5
無回答	36	5.3	59	7.0
回答者数	683	100.0	844	100.0



問12で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 待機児童を出さないために、定数を超えて入所を認めている保育所がある。事故が起きても不思議ではない状況で大変危険である。また、入所に際し、判定を厳格にするべきと思う。
- 園部幼稚園は預かり制を設けているのに、3日前に申請しないと絶対預かってくれない。仕事をしている人のためにとっているくせに急なシフト変更でも無理だといわれた。
- 仕事をしていない人が下の子がまだ小さく手がかかるので預かってほしいと言ったが、手を上げてしまうくらい切羽詰っているのなら、と言われたとのこと。
- 病児保育園を取り入れてほしい。また、障がいを持った子が安心して通えるように専門の知識をもった保育士が常駐し、病気などと連携できる体制を作してほしい。
- 希望の保育所に入れないことがある（待機、第2希望になる等）。
- 先生の人数が少ないため子どもたちに教育が行き届いてなく子どもたち自身に落ち着きがなくなっている。私立の幼稚園のほうがしっかりと教育されている。
- 自宅の近くの保育所に入れず、遠くのところに行っている。共働きの家庭にとって送迎は大変負担になっている。なぜ近隣に入れなのか。私立のほうが充実していると思う。
- 保育園に通っている子どもがいるが、敷地が狭く、建物も児童の人数を考えると小さく伸び伸び遊べる環境ではない。
- 日吉にも幼稚園を作してほしい。
- 保育士の人数や希望する人が足りていない。
- 幼児教育がもう少し充実すると思う。
- もっと本格的な音楽なり、教育を見せてよい教育の質を高めてほしい。
- 保育環境の充実が必要。特に十分なスペースまた職員の待遇、環境の充実が必要。
- 1歳未満の子どもは入れたくても入れられないし、入りたい保育園に入れない。
- 市立保育所は増改築を続けているが施設の老朽化は色々な場所に出ている。予算の都合もあるだろうが、応急処置の様な改築を繰り返さず、十分な敷地での新築を望みたい。
- 工夫はしているが園舎の構造上の不便が多すぎる。（物に対する倉庫の容量の少なさ等）

市民の約4割が「乳幼児への保育・教育が充実している」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は41.7%で、前年度の調査と比較して2.6ポイント減少しましたが、市民の約4割は「乳幼児への保育・教育が充実している」と感じているとの結果になりました。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は7.4%と、前年度調査よりも5.9ポイント減少しました。

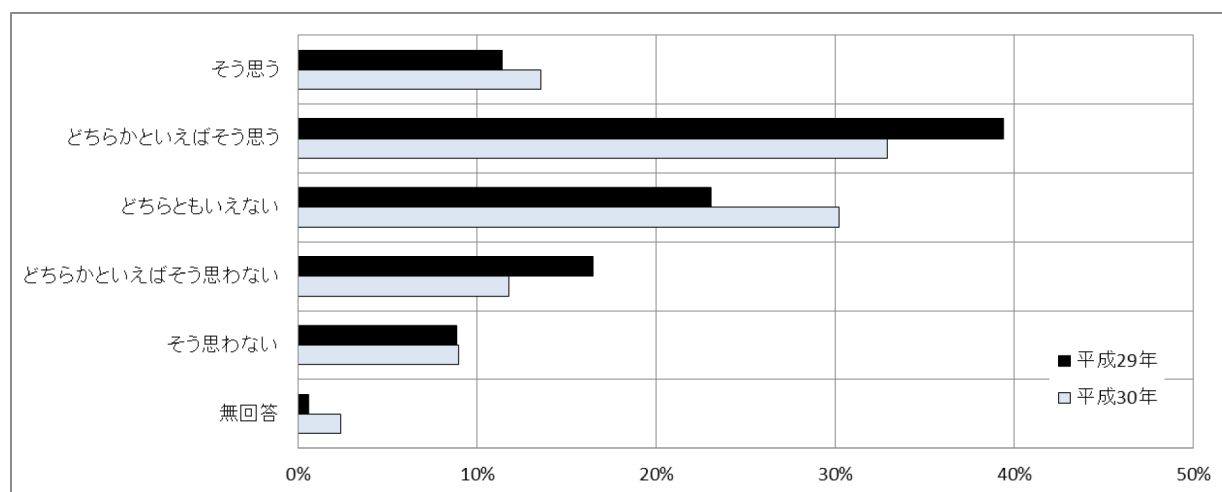
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

■ ■ アンケート調査結果

13-1

あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	78	11.4	115	13.6
どちらかといえばそう思う	269	39.4	278	32.9
どちらともいえない	158	23.1	255	30.2
どちらかといえばそう思わない	113	16.5	100	11.8
そう思わない	61	8.9	76	9.0
無回答	4	0.6	20	2.4
回答者数	683	100.0	844	100.0



13-2

あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか？

問13で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 専門的な分野などで信頼できる病院が近くにない。
- 交通面で不便で高齢者や車の運転免許のない（取れない）人にとっては、医療を受けるのが難しいと思う。
- 高齢の親は検診など京都まで出なければならないから。
- 通院するのに交通手段がない。病院での待ち時間が長すぎる。
- 医療施設の規模が小さく、器具が整っていない。また人員も少ない。
- 美山診療所存続の話が不安。
- 大きな病院が1つしかなく、この前の豪雨のときにドクターが出勤して来られなかったので、災害が起きたとき不安。
- リハビリテーションを受けられるところが少ないと思う。
- 京都中部総合医療センター以外に精密検査を受診する個人病院がないと感じる。
- 地区レベルでの医療機関の体制が不十分。美山診療所の医師確保に苦勞されており行政としてしっかり対応してほしい。
- 体調を崩した時救急車で八木町の京都中部総合医療センターへ運ばれたが、一人暮らしのため迎えに来てくれる人がおらず困った。日吉駅から京都中部総合医療センター行を往復6便作ってほしい。
- 近くに病院があるにもかかわらず、12歳以下の子どもは診てくれないとか、紹介状の有無によって診てくれない等により、とても安心して医療を受けられない。
- 京都中部総合医療センターでは、すべての科（内科、外科、脳外、整外）において充実した医療ができていると言えない。救急で行っても専門ドクターがおらず不安過ぎる。
- 近くに病院がない。歯医者・皮膚科などの病院がない。
- 夜診のある病院が少なく、内科、外科でも時間待ちがひどい。
- 美山の場合遠くまで行かないといけないから高齢の方は大変と思う。
- 高齢者（運転免許返還年齢）なので受診したくても交通不便。体力減少でとても困っている。もっときめ細かい、交通網を求む。市の交通補助もなかなか基準があるのが行ってもらえず困っている。

市民の4割以上が「安心して医療を受けられる」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は46.5%と、前年度の調査と比較して4.3ポイント減少しました。一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は20.8%と、前年度調査よりも4.6ポイント減少しました。

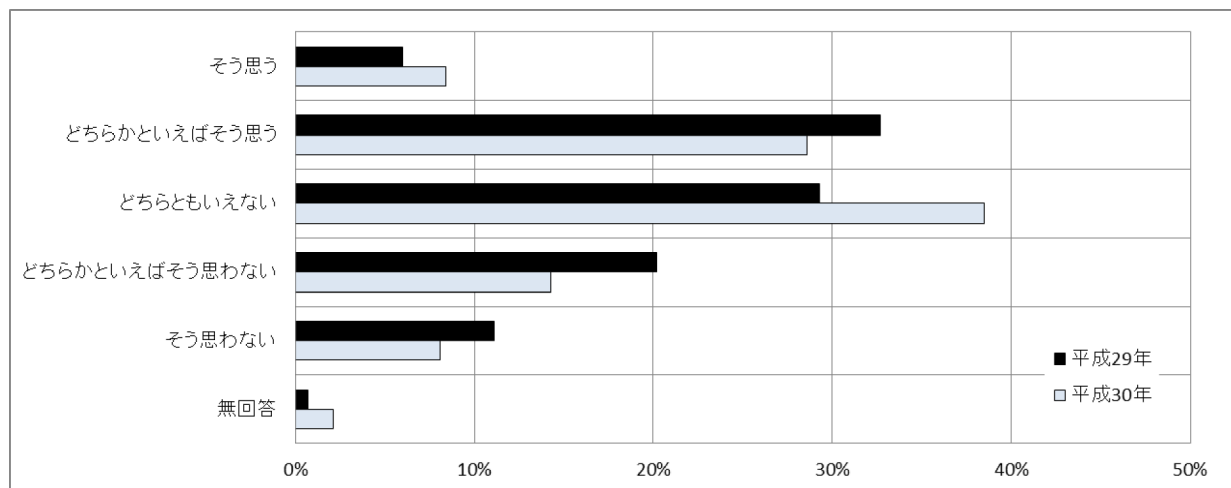
地域別にみると、美山が他の地域より「安心して医療を受けられる」と思っている方の割合が低くなっています。

■ ■ アンケート調査結果

1 4 - 1

あなたは、南丹市が高齢の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われ
ますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	41	6.0	71	8.4
どちらかといえばそう思う	223	32.7	241	28.6
どちらともいえない	200	29.3	325	38.5
どちらかといえばそう思わない	138	20.2	121	14.3
そう思わない	76	11.1	68	8.1
無回答	5	0.7	18	2.1
合 計	683	100.0	844	100.0



1 4-2

あなたは、南丹市が高齢の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われ
ますか？

問14で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- JR八木駅は古く、エレベーターもないので利用するのに大変。
- 交通の便が悪いので自身で車を運転される方が多い。高齢者の運転は本当に怖いと感じることが多い。
- 福祉関係の事業、設備が不十分。
- 病気になるし足も弱ればバスはなく、高齢者になれば免許の返納になればタクシーも大型なのでなかなか頼むのももったいないと思う。小型のタクシーの導入を検討いただけたらと思う。
- 免許返納に対し良い待遇を考えるべき。
- 街灯がなく、信号が青の時間が短い。
- デマンドバスは事前予約していなければ利用できない。急に思い立って出掛けることが出来ないで非常に不便である。
- ゴミ捨てがとても遠い。
- 独居高齢者への訪問診療は必要と思うが、体制がない。
- 緊急時（災害等）の支援体制が不十分ではないか。支援者が少なく、要支援者登録をされている者の支援者が高齢者の場合もある。
- 市街地にしかコンビニのようなものを買える施設がない。
- ICカード不利用の改善を。
- 1人暮らしの人のお弁当の配達が一回しかない。バスが少ない。バスに乗れない人は食べるにも大変。
- 保健師による家庭訪問と健康相談を検討してほしい。
- 楽しめる場所がない（趣味が生かせる教室や体を動かせるスポーツ教室等がない）。
- 高齢者が多く、サポートしてくれる若い世代が少ない。
- 災害時、避難所に受け入れ態勢がまったくできていない。
- ぐるりんバスの増発と本当の足になる交通手段を打ち出してほしい。

市民の3割以上が「高齢者が安心して暮らせるまちだ」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は37.0%と、前年度の調査と比較して1.7ポイント減少しました。一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は22.4%と、前年度調査よりも8.9ポイント減少しており、全体的には「高齢者が安心して暮らせるまち」と思わない方は減少しました。

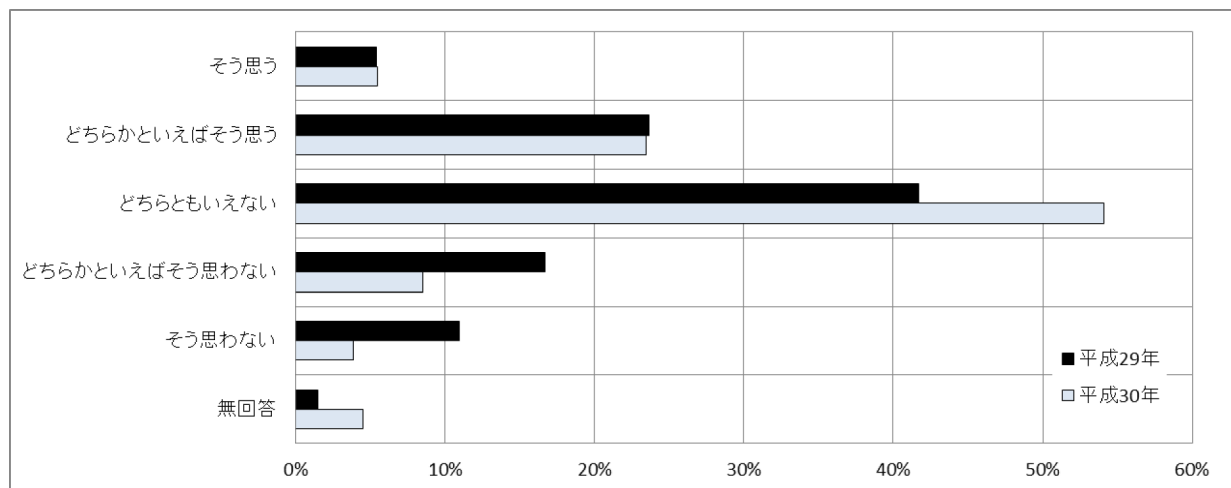
なお、地域別でみると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は八木が一番多く、美山が一番少なくなっています。

II アンケート調査結果

15-1

あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思えますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	37	5.4	46	5.5
どちらかといえばそう思う	162	23.7	198	23.5
どちらともいえない	285	41.7	457	54.1
どちらかといえばそう思わない	114	16.7	72	8.5
そう思わない	75	11.0	33	3.9
無回答	10	1.5	38	4.5
合計	683	100.0	844	100.0



問15で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 駅や移動手段が不足していると思う。
- バリアフリーが十分でなく、駅や移動手段が不足していると思うから。
- 歩道等の整備が不十分で、歩道があっても舗装等の修繕ができていない箇所が多い。
- 施設が足りない。選べるところがない。
- 支援学校を卒業してから障がいのある方は就職先が少なくとても厳しい。卒業してからが長い人生だと思うので、親がいなくなっても生きていけるように支援をして頂きたい。
- 障がいのある人たちの働く場所や活動する場が少ない。
- 災害が起きて、避難生活をしなければならなくなった時、プライバシーに大きく関わってきそうで不安。
- 一般住民の障がい者に対する理解が進んでいないように感じる。障がい者施設を開所されるときには、近隣の一般住民から反対運動があると聞いている。
- 障がい児を見てくれる訪問看護ステーションがない。
- 行政の支援やサービスは充実しているように見えるが、交通面、バリアフリーという視点で見るとたくさんの障壁があると考えられるから。
- 障がい者の就労など、自立支援のための公的支援策が不十分である。
- 卒業後、八木にはあじさい園があるが八木の子が必ずそこへ行ける保証はない。A型作業所もほとんどなく一般企業の受け入れ体制もない。何より役場も障がい者雇用枠がない。
- JR八木駅が昭和初期に建てられたままでバリアフリーがなされていないから気軽に電車で出かけられない。
- 京都中部総合医療センターの外来トイレ、車イスで入れるトイレが一か所しかない。付き添いで行ったがトイレも時間がかかるので待つ方も多く、大変。
- ガイドヘルパー等の数が減ってきている。
- 弱者対策を市がどれだけしているか、住民にPRできているか疑問。
- 発達障がい者が利用できるサービス、相談場所が少ない。

市民の約3割が「障がいのある方にとって暮らしやすいまち」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は29.0%と、前年度の調査と比較して同様の結果となりました。一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は12.4%と、前年度調査よりも15.3ポイントも減少しており、「障がいのある方にとって暮らしにくい」と思う方は減少しました。

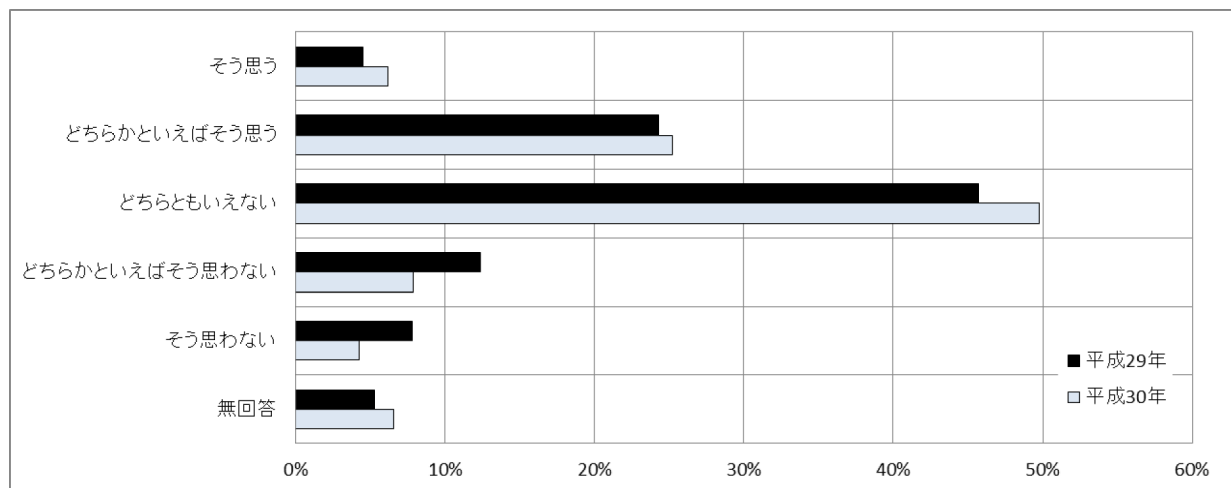
しかしながら、「どちらともいえない」が54.1%と最多となっており、判断がつきにくい状況にあるものと考えられます。

II アンケート調査結果

16-1

あなたは、南丹市が妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思えますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	31	4.5	52	6.2
どちらかといえばそう思う	166	24.3	213	25.2
どちらともいえない	312	45.7	420	49.8
どちらかといえばそう思わない	85	12.4	67	7.9
そう思わない	53	7.8	36	4.3
無回答	36	5.3	56	6.6
合 計	683	100.0	844	100.0



問16で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- バリアフリー、移動手段、医療機関の充実が十分でない。
- 産科等の医療の充実が急務である。
- 出産できるところが美山にはない。
- 緊急時に対応してくれるところが少ないし、遠い。
- 住んでいるところにもよるが、同じような世代の人も少なく、孤立しやすい。
- 対応、食事、環境が悪く亀岡市、京都市での出産が多い。充実と改良を求める。
- 2人目以降となると、上の子のために、一時保育や児童館など頼れる場が少ない。
- 「なんたーん」のように障がい者や妊婦も安心して暮らせる町を目指したロゴマーク、キャッチコピー、動画(YouTube)の作成を目指してはどうか。
- 1か月検診までの公費用紙があるとよいと思う。（他府県ではそろっている）
- 妊婦が受診できる場所がない
- 旧南丹病院では産婦人科の待ち時間が長く、他の病院の産婦人科となると、亀岡市まで行く必要があるから。
- 子育て環境に対し、手厚い制度を望む。安心して相談ができる体制が必要と思う。
- もっと若い人の世代に住めるようにもっと開発を早急に進めないと安心して子どもが産めない状態。

妊婦の方にとって暮らしやすいまちになりつつある

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は31.4%と、前年度の調査と比較して2.6ポイント増加しました。一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は12.2%と、前年度調査よりも8.0ポイント減少しており、全体的に「妊婦の方にも暮らしやすいまち」のなりつつあると思われます。

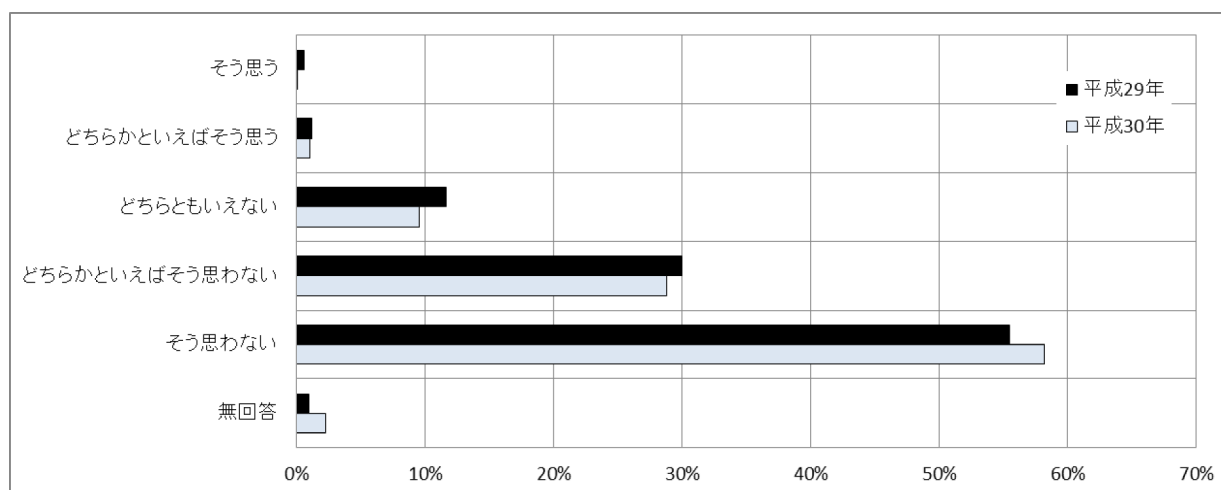
地域別にみると、日吉・美山より園部・八木の方が、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答される割合が多くなっています。

■ アンケート調査結果

17

あなたは、南丹市の商店街がにぎわっていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	4	0.6	1	0.1
どちらかといえばそう思う	8	1.2	9	1.1
どちらともいえない	80	11.7	81	9.6
どちらかといえばそう思わない	205	30.0	243	28.8
そう思わない	379	55.5	491	58.2
無回答	7	1.0	19	2.3
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の9割近くが「商店街がにぎわっていない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は1.2%と前年度の調査と比較して0.6ポイント減少しました。一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は87.0%と、前年度の調査よりも1.5ポイント増加しました。

「そう思わない」の回答が58.2%で最も多い回答となり、「どちらかといえばそう思わない」をあわせると、約9割近くの方が、商店街がにぎわっていないと感じています。

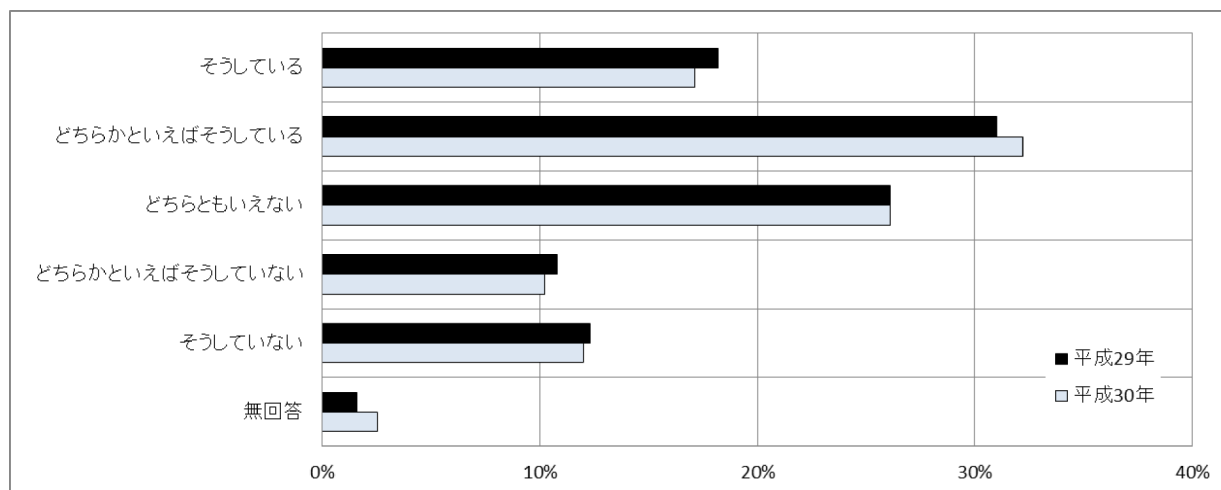
なお、年齢別・地域別等による差は見られません。

II アンケート調査結果

18

あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そうしている	124	18.2	144	17.1
どちらかといえばそうしている	212	31.0	272	32.2
どちらともいえない	178	26.1	220	26.1
どちらかといえばそうしていない	74	10.8	86	10.2
そうしていない	84	12.3	101	12.0
無回答	11	1.6	21	2.5
合 計	683	100.0	844	100.0



半数近くの市民が「市内で生産された産品を意識して購入している」と回答

「そうしている」または「どちらかといえばそうしている」と回答された方の割合は、前年度の調査と同様の49.3%であり、半数近くの市民が、「市内で生産された産品を意識して購入している」と回答しました。

一方で、「どちらかといえばそうしていない」または「そうしていない」と回答された方の割合は22.2%と、前年度調査よりも0.9ポイント減少しました。

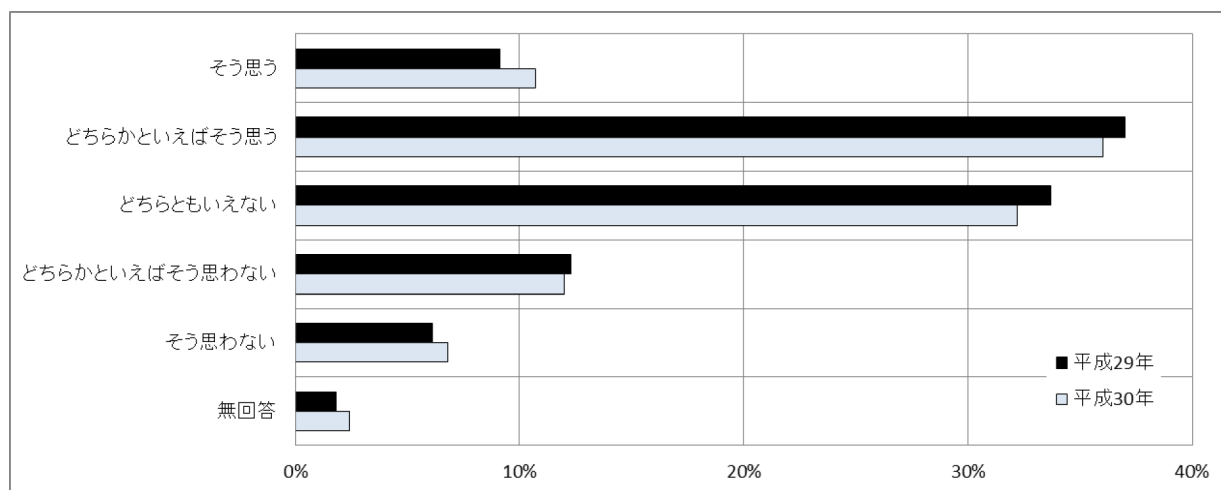
年齢別にみると、10代から30代よりも、40代以上の年代で「市内で生産された産品を意識して購入している」と回答された方が多くなりました。

II アンケート調査結果

19

あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	62	9.1	90	10.7
どちらかといえばそう思う	253	37.0	304	36.0
どちらともいえない	230	33.7	272	32.2
どちらかといえばそう思わない	84	12.3	101	12.0
そう思わない	42	6.1	57	6.8
無回答	12	1.8	20	2.4
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の4割以上が「南丹市の自然環境は守られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は46.7%、また、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は18.8%と、いずれも前年度の調査とほぼ同様の結果となり、市民の4割以上が「南丹市の自然環境は守られている」と回答しました。

年齢別でみると、若い世代の方が「南丹市の自然環境は守られている」と感じており、年齢層が上がるにつれ、減少していく傾向が見受けられます。

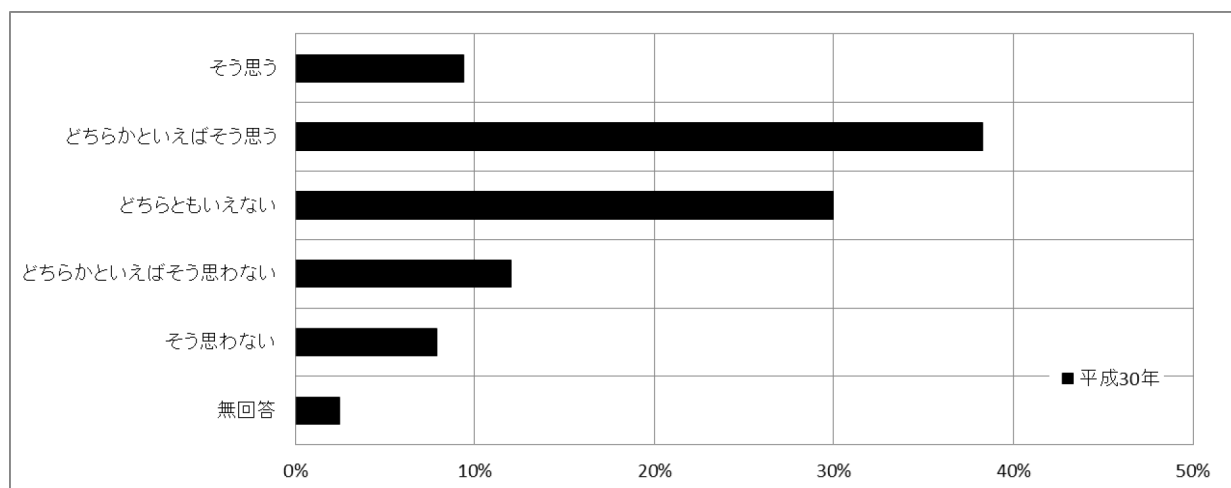
II アンケート調査結果

20

あなたは、南丹市において、美しい景観が適切に守られていると思われますか？

※平成30年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	－		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	0	0.0	79	9.4
どちらかといえばそう思う	0	0.0	323	38.3
どちらともいえない	0	0.0	253	30.0
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	101	12.0
そう思わない	0	0.0	67	7.9
無回答	0	0.0	21	2.5
合計	－	－	844	100.0



市民の半数近くが「美しい景観が適切に守られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は全体の47.7%であり、一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は19.9%でした。

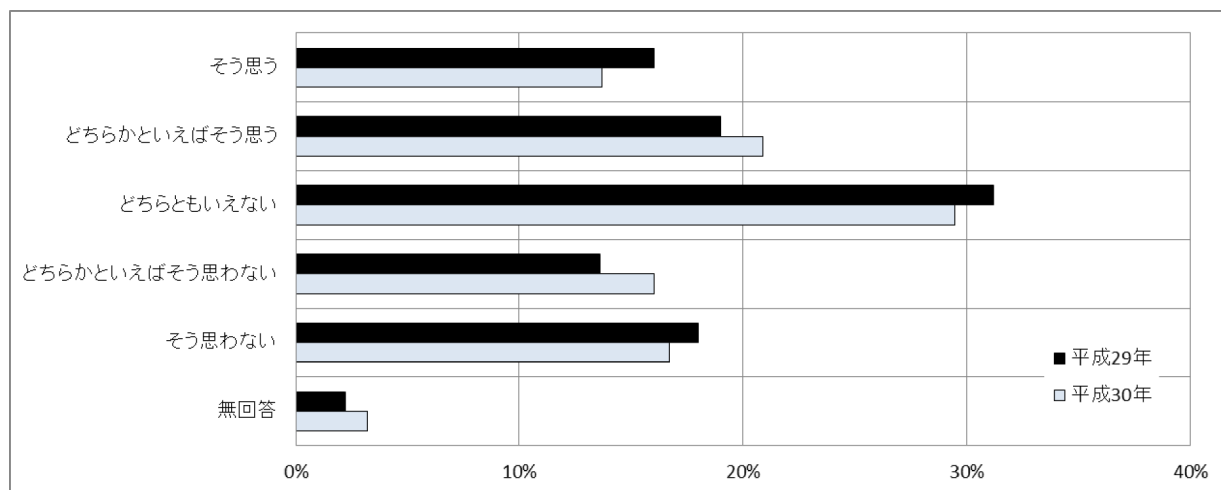
市民の半数近くの方が「美しい景観が適切に守られている」と回答していますが、特に10代の若い世代でその傾向が強い結果となっています。

II アンケート調査結果

21

あなたは、南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思いますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	109	16.0	116	13.7
どちらかといえばそう思う	130	19.0	176	20.9
どちらともいえない	213	31.2	249	29.5
どちらかといえばそう思わない	93	13.6	135	16.0
そう思わない	123	18.0	141	16.7
無回答	15	2.2	27	3.2
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の3人に1人以上が「建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべき」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は34.6%であり、前年度の調査と比較して0.4ポイント減少しました。一方で、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は32.7%と、前年度の調査よりも1.1ポイント増加しており、市民の3人に1人以上が「建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべき」と回答しました。

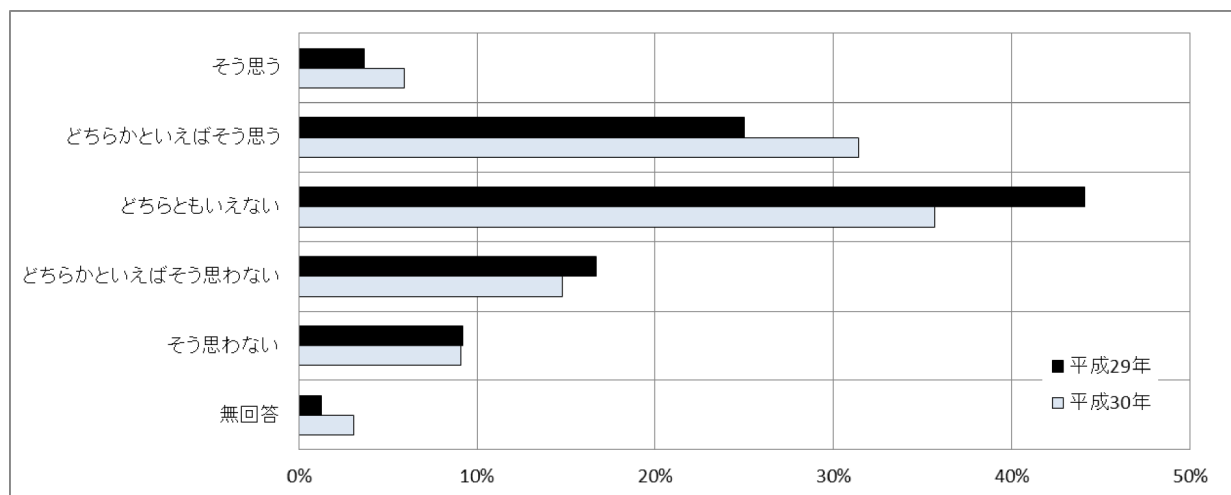
地域別でみると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は美山で他の地域よりも多くなっています。

II アンケート調査結果

22

あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思いますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	25	3.7	50	5.9
どちらかといえばそう思う	171	25.0	265	31.4
どちらともいえない	301	44.1	301	35.7
どちらかといえばそう思わない	114	16.7	125	14.8
そう思わない	63	9.2	77	9.1
無回答	9	1.3	26	3.1
合計	683	100.0	844	100.0



南丹市が「防災の面で安心して暮らせるまち」と思う人が増えてきている

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は前年度の調査と比較して8.6ポイント増加し37.3%となり、市民の3人に1人以上が「防災面で安心して暮らせるまち」と回答しました。

一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は23.9%と、前年度調査よりも2.0ポイント減少しました。

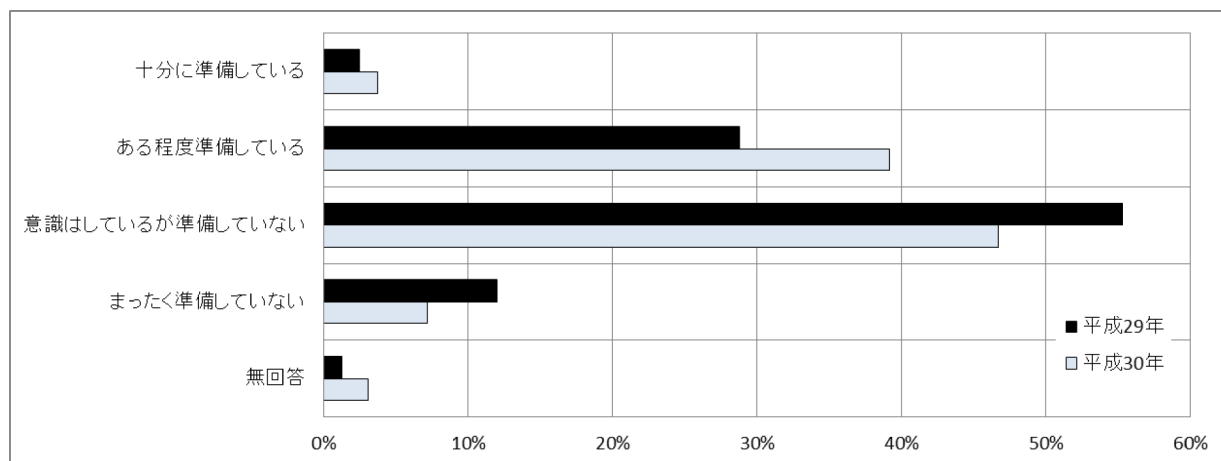
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

23

あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
十分に準備している	17	2.5	32	3.8
ある程度準備している	197	28.8	331	39.2
意識はしているが準備していない	378	55.3	394	46.7
まったく準備していない	82	12.0	61	7.2
無回答	9	1.3	26	3.1
合 計	683	100.0	844	100.0



台風や地震などの災害にそなえる市民が増えてきている

「十分に準備している」または「ある程度準備している」と回答された方の割合は43.0%と、前年度の調査と比較して11.7ポイント増加しました。一方、「意識はしているが準備していない」または「まったく準備していない」と回答された方の割合は53.9%と、前年度調査よりも13.4ポイント減少しており、災害にそなえる市民が増えてきたと考えられます。

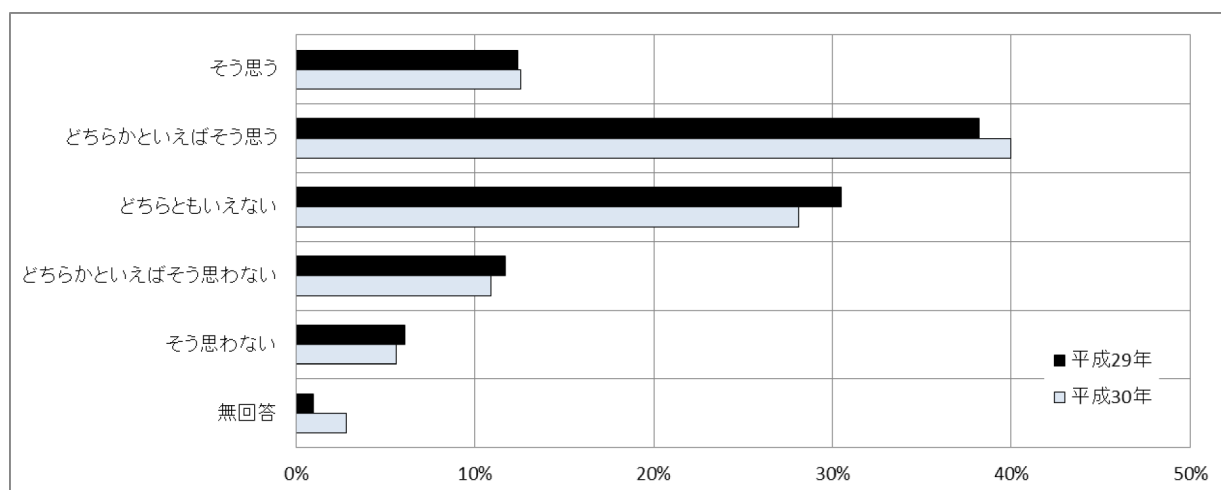
年齢別でみると、若い世代ほど「準備していない」と回答する傾向が見られます。

II アンケート調査結果

24

あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	85	12.4	106	12.6
どちらかといえばそう思う	261	38.2	338	40.0
どちらともいえない	208	30.5	237	28.1
どちらかといえばそう思わない	80	11.7	92	10.9
そう思わない	42	6.1	47	5.6
無回答	7	1.0	24	2.8
合計	683	100.0	844	100.0



市民の半数以上が「市からの確に災害情報が発信される体制が整備されている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は52.6%であり、前年度調査と比較して2.0ポイント増加しました。一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は16.5%と、前年度の調査より1.3ポイント減少しており、市民の半数以上が「市からの確に災害情報が発信される体制が整備されている」と回答しました。

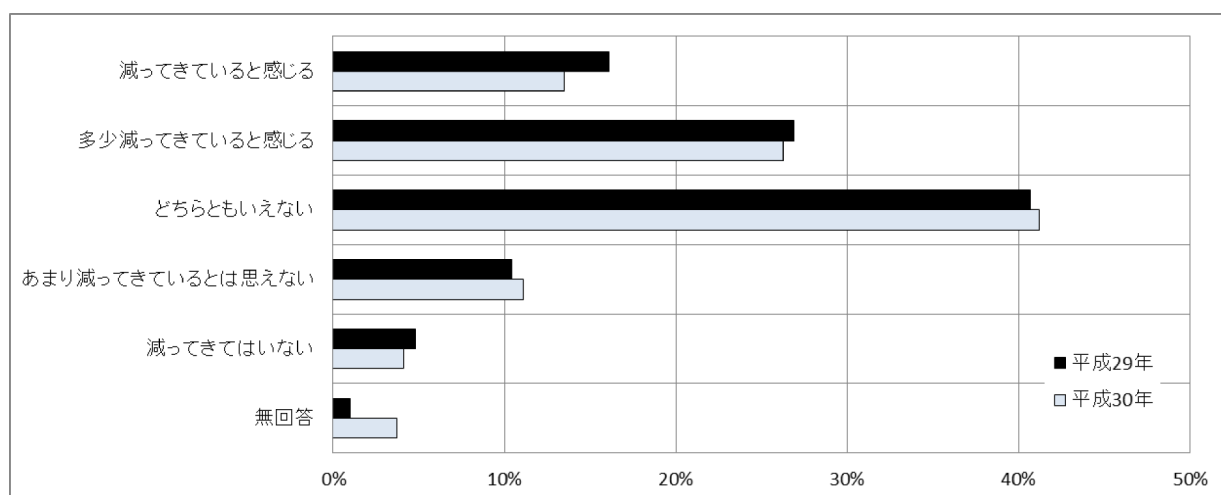
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

25

世の中には、まだまだ性別や国籍、障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これら差別が減ってきているとお感じですか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
減ってきていると感じる	110	16.1	114	13.5
多少減ってきていると感じる	184	26.9	222	26.3
どちらともいえない	278	40.7	348	41.2
あまり減ってきているとは思えない	71	10.4	94	11.1
減ってきてはいない	33	4.8	35	4.1
無回答	7	1.0	31	3.7
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の4割が「南丹市では性別や国籍、障がいなどによる差別が減ってきている」と回答

「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答された方の割合は39.8%と、前年度の調査と比較して、3.2ポイント減少しました。一方、「あまり減ってきているとは思えない」または「減ってきてはいない」と回答された方の割合は15.2%と前年度調査と同じ結果となりました。

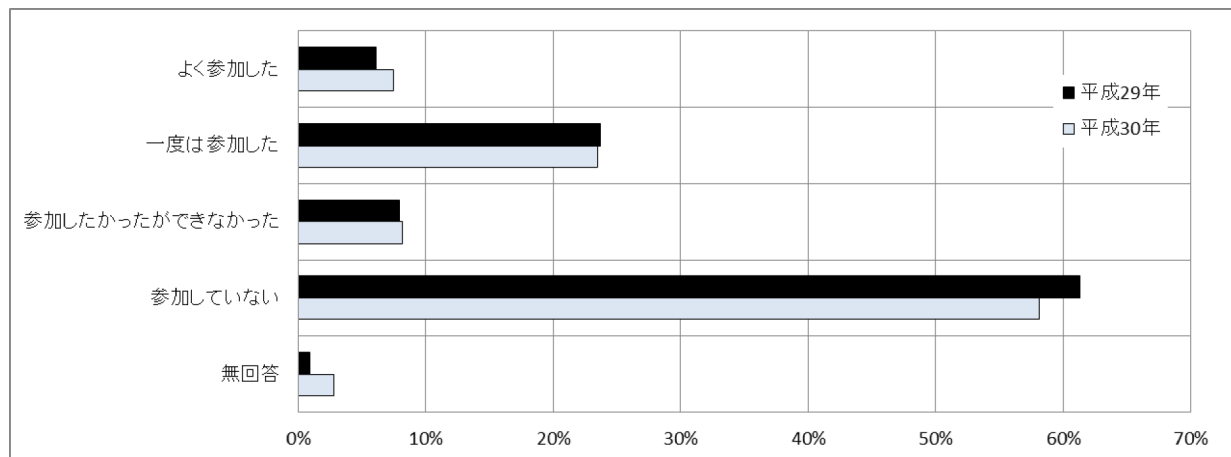
年齢別にみると、「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答された方の割合は、年齢層が高いほど高いという傾向が見られます。

II アンケート調査結果

26

あなたは、過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
よく参加した	42	6.1	63	7.5
一度は参加した	162	23.7	198	23.5
参加したかったができなかった	54	7.9	69	8.2
参加していない	419	61.3	490	58.1
無回答	6	0.9	24	2.8
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の3人に2人が「人権問題に関するセミナーなどに参加していない」と回答

「よく参加した」または「一度は参加した」と回答された方の割合は31.0%と、前年度の調査と比較して1.2ポイント増加しました。一方、「参加したかったができなかった」または「参加していない」と回答された方の割合は66.3%と、前年度調査よりも2.9ポイント減少しており、「人権問題に関するセミナーなどに参加していない」人は減ってきていますが、それでも市民の3人に2人は「参加していない」と回答されました。

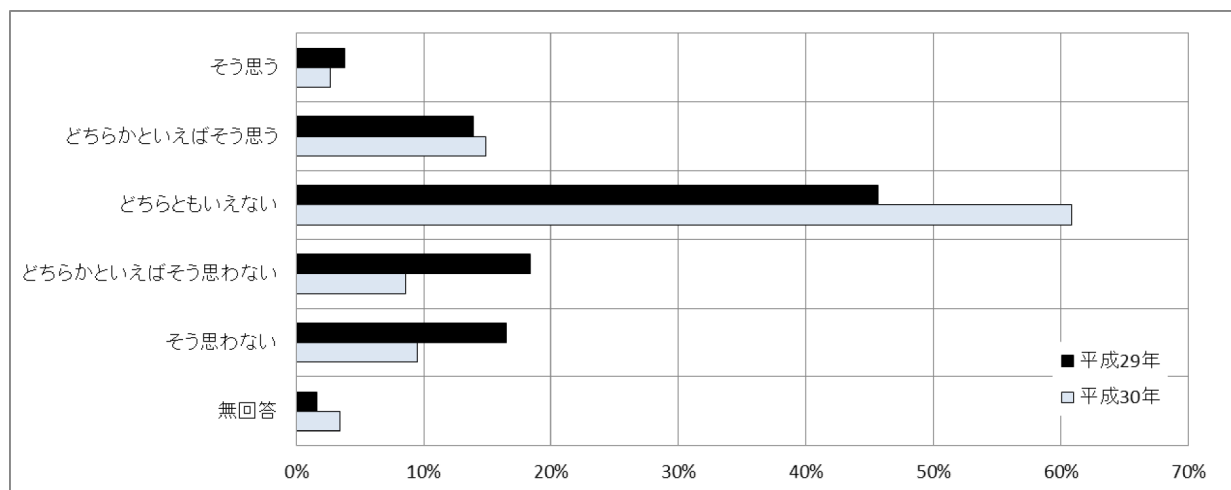
年齢別でみると、30代、40代で、他の世代より「参加していない」との回答が多くなっています。

II アンケート調査結果

27-1

あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	26	3.8	23	2.7
どちらかといえばそう思う	95	13.9	126	14.9
どちらともいえない	312	45.7	513	60.8
どちらかといえばそう思わない	126	18.4	73	8.6
そう思わない	113	16.5	80	9.5
無回答	11	1.6	29	3.4
合計	683	100.0	844	100.0



問27で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 南丹市に於いて税金が均等に活用されていない。
- 使用頻度の少ない道路の改裝が多いと感じる。もっと市民の希望を聞く機会をつくってほしい（運動公園の整備etc.）。
- 後期高齢者の保険税や税金が高すぎる。健康に関する運動や、サークルは行政から補助金が出ないと聞いたがなぜか。
- 道路の安全性、利便性が確保されていない。
- 災害復旧が遅い。一か月二か月どころか道路がずっと使えない。
- 利用者や納税者に説明がないまま不要と思われる公共工事が多すぎる。
- インフラとしては必要かもしれないが、もっと浸水する道路を全面的に改良するなど、集中して使ってほしい。
- 税金の使用にばらつきがあるのではないかな。もっと見える化が必要。
- ゴミ処理場の問題を解決してほしい。
- 町への税金の分配が適正なのか見えない。不必要な部分に税金が投入されている感が否めない。
- 道路整備や施設整備が優先する。経済優先、利便性追求ばかりでは将来におおきなつけを回すだけである。
- 働く現役世代の健康維持に重点をおいてほしい。
- 園部の商店街で、道路は整備されたがどのような方向でいかれるのか不明。市民のための町づくりになっているのか？
- 保育料やらなんやら高いお金取るだけとって、無駄に税金が使われているようにしか思えない。
- もっと活気のあるまちにするため、駅周辺にもっと力を入れるべきだと思う。駅の周りは高齢者にとって、障がい者にとって一番ひどい造りとなっている。

税金が効果的に活用されているかについては市民の6割以上が「どちらともいえない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は17.6%と、前年度の調査と同様の結果となりました。一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は18.1%と、前年度調査よりも16.8ポイント減少しました。

しかしながら、「どちらともいえない」との回答は60.8%と最も多く、前年度調査よりも15.1ポイント増加しており、「税金が効果的に活用されているか」について「そう思わない」方は減少した一方で、「どちらともいえない」と回答された方が全体の6割を占めました。

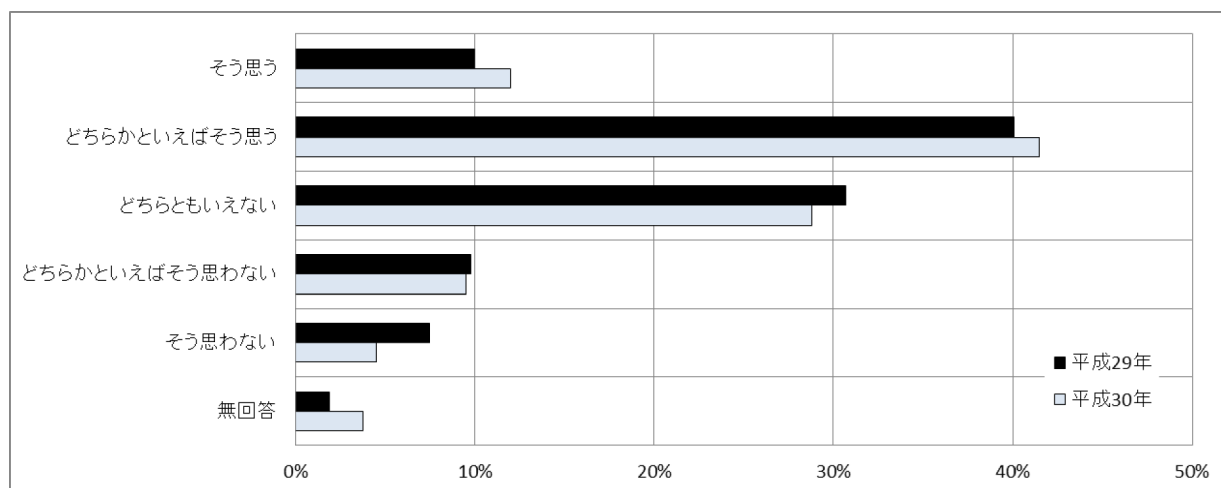
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

II アンケート調査結果

28

あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政についての情報が的確に得られていると感じられますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	68	10.0	101	12.0
どちらかといえばそう思う	274	40.1	350	41.5
どちらともいえない	210	30.7	243	28.8
どちらかといえばそう思わない	67	9.8	80	9.5
そう思わない	51	7.5	38	4.5
無回答	13	1.9	32	3.8
合 計	683	100.0	844	100.0



市民の半数以上が「市政について情報が的確に得られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は53.5%と、前年度の調査と比較して3.4ポイント増加しました。一方、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方の割合は14.0%と、前年度調査よりも3.3ポイント減少しました。

年齢別でみると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方の割合は、10代で他の年代と比べて少なくなっています。

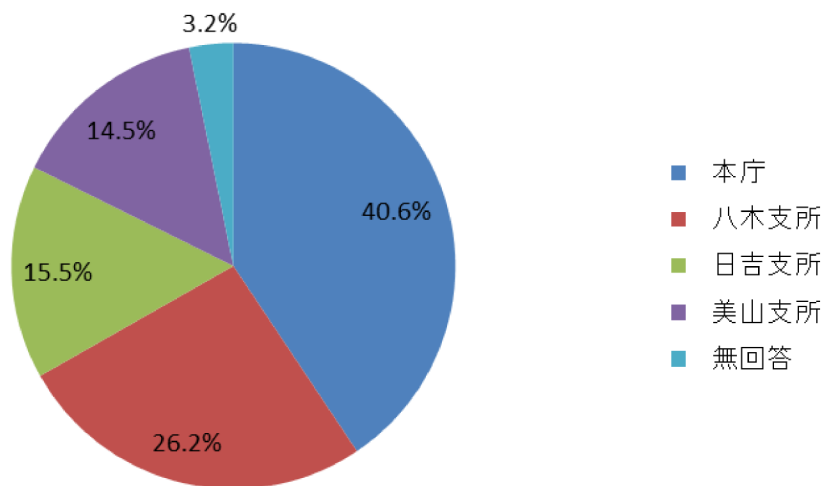
II アンケート調査結果

29

市役所のサービスを利用する際、どこをよく利用しますか？

※平成30年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	－		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
本庁	0	0.0	343	40.6
八木支所	0	0.0	221	26.2
日吉支所	0	0.0	131	15.5
美山支所	0	0.0	122	14.5
無回答	0	0.0	27	3.2
合計	－	－	844	100.0



自分の住む地域の本庁・支所を利用している人が多い

回答者全体でみると、「本庁」と回答された方が最も多く40.6%、次いで「八木支所」が26.2%、「日吉支所」が15.5%、「美山支所」が14.5%となりました。

地域別でみると、各地域で8割以上の方が、自身がお住いの地域にある本庁・支所を利用されていますが、園部以外にお住いの方でも10%前後の方が本庁を利用されていることがわかります。

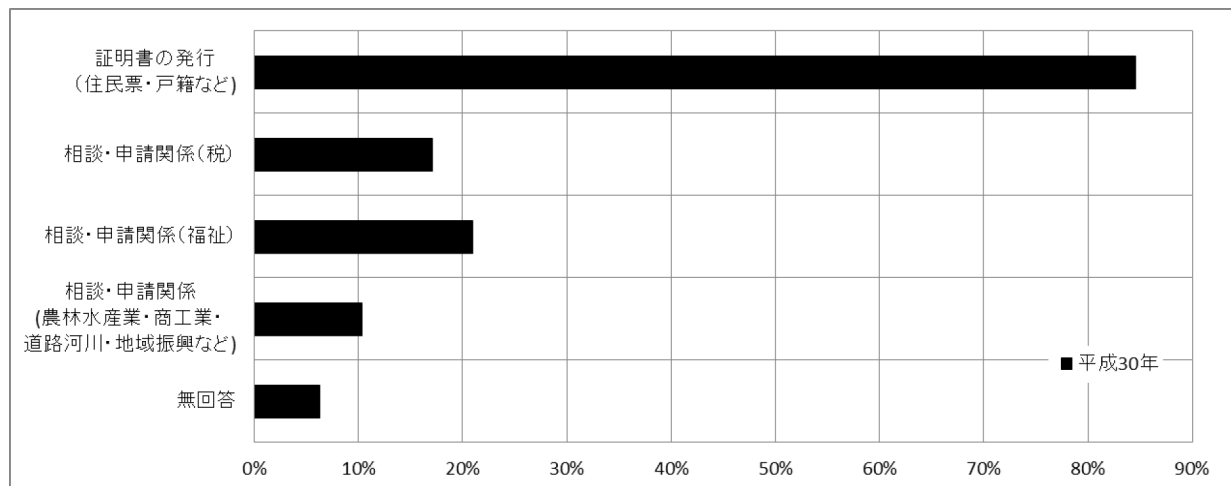
アンケート調査結果

30

よく利用されるサービスは何ですか？《複数回答可》

※平成30年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	－		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
証明書の発行(住民票・戸籍など)	0	0.0	714	84.6
相談・申請関係(税)	0	0.0	144	17.1
相談・申請関係(福祉)	0	0.0	177	21.0
相談・申請関係(農林水産業・商工業・道路河川・地域振興など)	0	0.0	88	10.4
無回答	0	0.0	53	6.3
合 計	－	－	844	－



市役所のサービスで最もよく利用されるのは「証明書の発行」

「証明書の発行」と回答された方が最も多く84.9%、次いで「相談・申請関係(福祉)」が21.0%、「相談・申請関係(税)」が17.1%、「相談・申請関係(農林水産業・商工業・道路河川・地域振興など)」が10.5%となりました。

なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

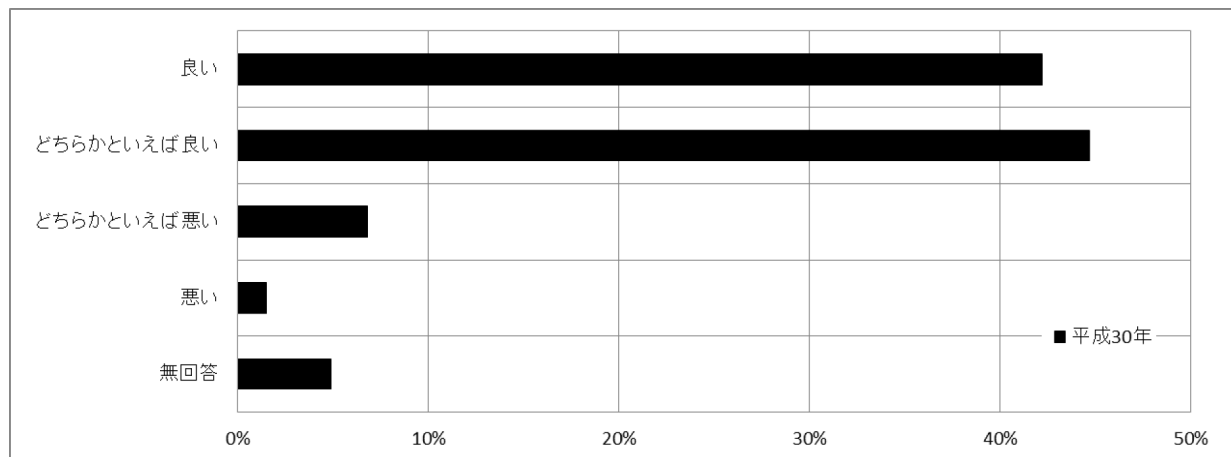
II アンケート調査結果

3 1

窓口サービスの待ち時間、対応時間はいかがですか？

※平成30年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	－		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
良い	0	0.0	356	42.2
どちらかといえば良い	0	0.0	377	44.7
どちらかといえば悪い	0	0.0	57	6.8
悪い	0	0.0	13	1.5
無回答	0	0.0	41	4.9
合 計	－	－	844	100.0



市民の8割以上が窓口サービスについて「良い」と回答

「良い」または「どちらかといえば良い」と回答された方は86.9%であり、一方、「どちらかといえば悪い」または「悪い」と回答された方は8.3%と、市民の8割以上の方が窓口サービスについて「良い」と回答されました。

なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

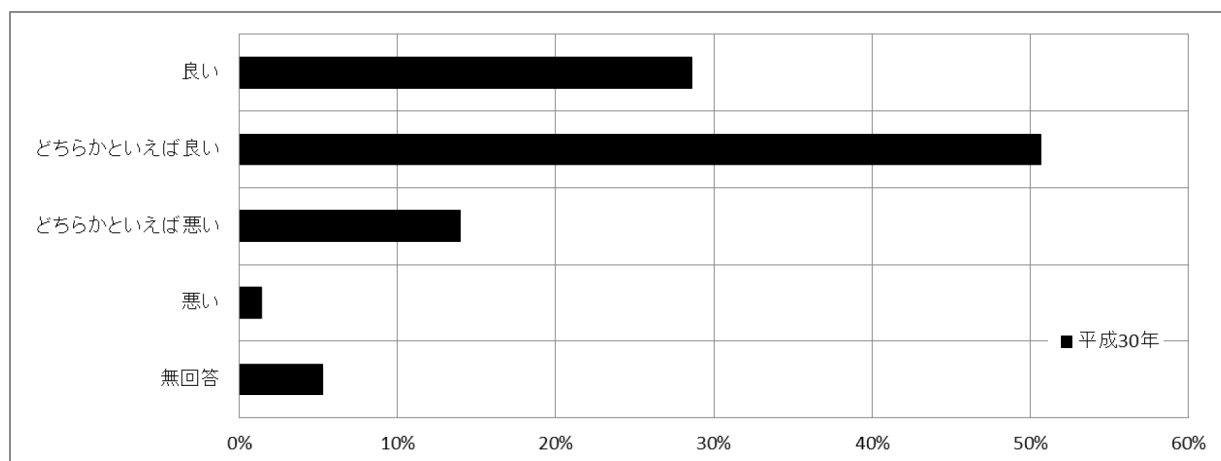
II アンケート調査結果

3 2

目的の窓口の場所、案内表示は、わかりやすいですか？

※平成30年度調査より追加された設問です。

選 択 肢	－		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
良い	0	0.0	241	28.6
どちらかといえば良い	0	0.0	428	50.7
どちらかといえば悪い	0	0.0	118	14.0
悪い	0	0.0	12	1.4
無回答	0	0.0	45	5.3
合 計	－	－	844	100.0



市民の8割近くが「窓口の場所・案内表示がわかりやすい」と回答

「良い」または「どちらかといえば良い」と回答された方は79.3%であり、市民の8割近くが「窓口の場所・案内表示がわかりやすい」と回答されました。

一方、「どちらかといえば悪い」または「悪い」と回答された方は15.4%でした。

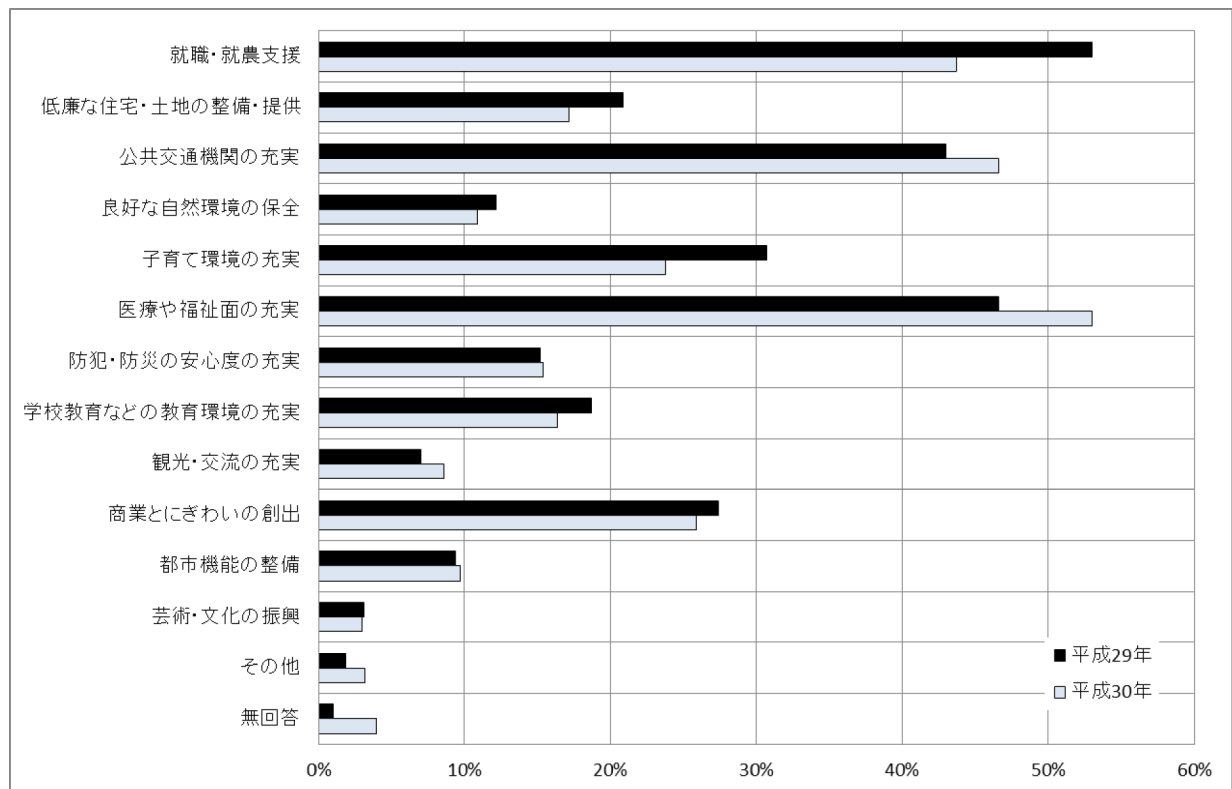
なお、年齢別・地域別等による明確な差は見られません。

アンケート調査結果

3 3

あなたは、南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか？《3つまで選択可》

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
就職・就農支援	362	53.0	369	43.7
低廉な住宅・土地の整備・提供	143	20.9	145	17.2
公共交通機関の充実	294	43.0	393	46.6
良好な自然環境の保全	83	12.2	92	10.9
子育て環境の充実	210	30.7	201	23.8
医療や福祉面の充実	318	46.6	447	53.0
防犯・防災の安心度の充実	104	15.2	130	15.4
学校教育などの教育環境の充実	128	18.7	138	16.4
観光・交流の充実	48	7.0	73	8.6
商業とにぎわいの創出	187	27.4	219	25.9
都市機能の整備	64	9.4	82	9.7
芸術・文化の振興	21	3.1	25	3.0
その他	13	1.9	27	3.2
無回答	7	1.0	34	4.0
合 計	683	—	844	—



南丹市への定住促進のためには「医療や福祉面」や「公共交通機関」の充実が必要

最も割合が高かったのは「医療や福祉面の充実」で53.0%、次いで「公共交通機関の充実」で46.6%、「就職・就農支援」で43.7%、「商業とにぎわいの創出」で25.9%となりました。最も高かった「医療や福祉面の充実」は前年度の調査と比較して6.4ポイント増加しました。

年齢別でみると、20代以下では、「公共交通機関の充実」が、30代以上では、「医療や福祉面の充実」の割合が多くなっています。

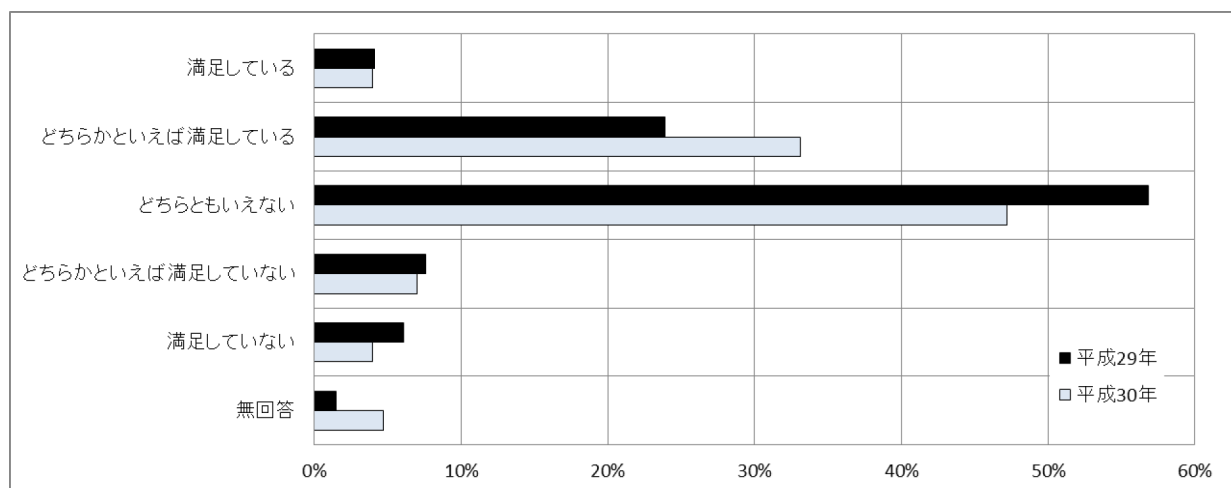
また、職業別でみると、自営業・農林漁業の方は、「就職・就農の支援」を、学生の方は「公共交通機関の充実」と回答される割合が多くなっています。

II アンケート調査結果

3 4 - 1

あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しておられますか？

選 択 肢	平成29年		平成30年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
満足している	28	4.1	34	4.0
どちらかといえば満足している	163	23.9	279	33.1
どちらともいえない	388	56.8	398	47.2
どちらかといえば満足していない	52	7.6	59	7.0
満足していない	42	6.1	34	4.0
無回答	10	1.5	40	4.7
合 計	683	100.0	844	100.0



問34で「4. どちらかといえばそう思わない」または「5. そう思わない」と回答された方に、その理由についてお伺いしました。主な理由の内容は次のとおりです。

- 住宅密集地に住んでいるが、生活に直結した施設等(商業施設、スーパー他)が無く、利用するには遠くまで行かなくてはならず、又交通手段も不便で高齢者には今後の心配。
- ノンストップでのサービスに対応出来る職員のスキルアップ。どんな行政も出来る職員の養成と窓口、支所が必要
- 健診でわざわざ園部に行かないといけない。日吉はわりと置いていかれている気がする。電車が止まった時にバスがあればいい。
- 行政的な相談が気安くできにくい雰囲気を感じる。職員の方も、カウンターへ訪れても来客の方を見ることなくもくもくと自分の業務を行い、我々が声を出すまで振り向いてくれないので、少し不満を感じる
- 冬の除雪対策が不十分である。北国では市道の除雪は市において全部行っている。当市は市道であっても一部分しか除雪しない。したがって、町内においても細部の市道は除雪されていない。
- 教育関係の充実を望む。在住する地域に関係なく教育環境(IT化含め)の向上を望む。生涯学習を含めて、市独自の学習塾とのコラボによる、学力向上があるとうれしい。生涯学習としても、資格取得や社会教育の環境が整うとうれしい。
- 市民が必要な情報を入手する方法が不明。サービスの冊子を各戸に配布してほしい。
- 高齢者の筋トレ講座は年間通して実施すべきではないか。寝たきりや認知症防止のためには定期的に継続的に行った方が効果的と思う。町から市になってこういったところがサービス低下していると思う。
- 八木町、園部町のJR便を増やし、京阪神の利便性を活かした移住・定住施策が必要。
- 住民ファーストで行政サービスの1つ1つを見ていくともっと違うサービスの形があるので。これまでの形を続けるのではなく、別の視点で行政を考えていけないか。
- 市出身職員の比重を増加させるべき。特に各地区(支所)に地元出身職員を配置すべき。
- 年寄り向けの店が多すぎる。学生も多いのもっといろいろな店増やすべき。

行政サービスに「満足している」市民は増えつつある

「満足している」または「どちらかといえば満足している」と回答された方の割合は37.1%と、前年度の調査と比較して9.1ポイント増加しました。一方、「どちらかといえば満足していない」または「満足していない」と回答された方の割合は11.0%と、前年度調査よりも2.7ポイント減少しており、全体的に見て行政サービスに「満足している」市民は増えつつあると考えられます。

しかしながら、70代以上を除き、どの世代においても「どちらともいえない」が一番多い回答となっています。

35

南丹市の今後のまちづくりについてご提言、ご意見がありましたらお書きください。
また、行政全般についてお気づきの点がありましたらお書きください。

まちづくりに対してご提案やご意見についてお伺いしたところ、延べ278件のご提案やご意見をいただきました。主なご提案やご意見の内容は次のとおりです。

- 使用しなくなった古い建物を改修して老人の集まる場所になればと思っている。
- クマ出没の防災無線を流す際にどこの集落に出没したのか教えてほしい。
- 災害時にお年寄りや障がい者がスムーズに避難できる体制、車などの準備がさっとできるようにしておくべき。
- 開発認可方法に問題が多すぎる。行政がもっと協力的にならなければならない。
- 若い家族が暮らしやすいように医療、交通、学校、お買い物等の環境を良くしてほしい。
- 若い人に定住を考えるなら働く場を考えなければなかなか定住してもらえない。
- 公園の草は刈っているがゴミが散乱しているにもかかわらず業者は収集しない。5年以上放置されているので管理をしっかりしてほしい。
- 斎場の整備を確実に進めるべき。
- せめてバスが通る大きい道路には街灯を増やしてほしい。
- 災害の時に、防災無線からの放送がよくわからなかった。ゆっくりはっきりとわかりやすく説明してほしい。ケーブルテレビも有効に使って情報発信してほしい。
- デマンドタクシーがもう少し安くなるといい。予約したのに来なかったことがあるので、ちゃんとしてほしい。
- SOHOの企業誘致をしてほしい。便利な場所をアピールしてSOHO用地を形成するなどしてほしい。
- 京丹波町との連携、京丹波町と南丹市をつなぐバスの運行。（公的機関や病院などへ行けるように）
- 市全体のハード的な環境整備は難しいと認識しますので、ソフト環境充実、ICT化を望みます。
- 京都市に近くにいながら、住宅、商業施設の充実などに力を入れ人口が増える方向に持っていけるようにしてほしい。
- 区長が男性ばかりなのはおかしい。
- 高齢施設と保育、幼稚園等を一緒にする事により高齢者も元気になる。すぐには無理だと思うが空いている小学校を利用する。

— 平成30年度 —
まちづくりを積極的に進めるための

市民意識調査

調査協力をお願い

南丹市では、市民の皆さんの意見を取り入れ、平成30年度から始まる、新たなまちづくりの指針となる「第2次南丹市総合振興計画」を策定しました。

「第2次南丹市総合振興計画」では、計画を推進していくため、行政内部の視点だけでなく、外部からの視点も取り入れ、市民参加のもと総合的に進捗度と達成度を確認し、効果的・効率的な行政運営を進めていくこととしています。

この市民意識調査は、無作為に選ばせていただいた2,500人の方を対象に、**南丹市の住みごころ、子育て・医療・福祉、生活環境、防災、人権問題や行政サービス**などについて、アンケートにより、市民の皆さんのご意見を直接お聞かせいただき、計画の進捗状況や市民ニーズの把握に活用することを目的としています。

なお、このアンケートは統計的に処理し、この目的以外に使用することはありませんので、何卒調査の趣旨をご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

南丹市長 西村 良平

- この調査にご記入いただいた内容は、統計的に処理を行い、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- 宛名のご本人が、ご自身の実感や思い、また考えに基づいて市民意識調査(アンケート)に、ご回答ください。ご本人の記入が難しい場合は、家族の方などがご本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- ご記入いただいた調査票は、**8月17日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。切手は不要です。
- 調査結果は、南丹市ホームページ (<http://www.city.nantan.kyoto.jp>) などで公表します。

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをご回答ください。

この調査に関するお問い合わせ先

南丹市 定住・企画戦略課 TEL (0771)68-0003 内線 1313

平成30年度 まちづくりを積極的に進めるためのアンケート

まず、あなたご自身について教えてください。（統計結果の分析にのみ活用させていただきます。）

性 別	1. 男 性	2. 女 性		
年 齢	1. 18～19歳 5. 50～59歳	2. 20～29歳 6. 60～69歳	3. 30～39歳 7. 70歳以上	4. 40～49歳
住 所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職 業	1. 自営業・農林漁業 5. パート・アルバイト	2. 会社員・公務員など 6. 無 職	3. 学 生 7. その他（	4. 家事専業 ）
居住年数	1. 1年未満 5. 15～19年	2. 1～4年 6. 20年以上	3. 5～9年	4. 10～14年

◆南丹市の住みごこちについてお聞きます

問 1 南丹市は住みやすいと思いますか？

- 回答欄

問2 問1で「1. 住みやすい」「2. どちらかというに住みやすい」を選んだ方にお聞きます。
住みやすいと思う理由は何ですか？《3つまで選んでください》

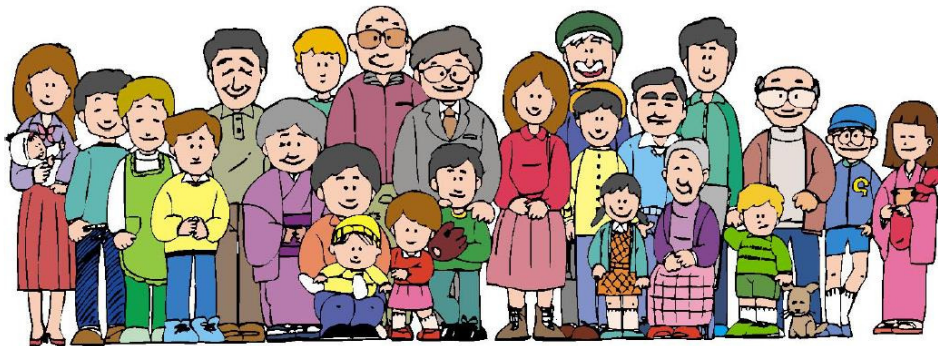
- | |
|-----|
| 回答欄 |
| |
| |
| |

問1で「3. どちらかというに住みにくい」「4. 住みにくい」を選んだ方にお聞きます。
住みにくいと思う理由は何ですか？《3つまで選んでください》

- | 回答欄 |
|-----|
| |
| |
| |

あなたは、今後も南丹市に住み続けたいですか？

- | |
|-----|
| 回答欄 |
|-----|



◆まちづくりへの皆さんの参加などについてお聞きます

問5 あなたは、南丹市が市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問6 あなたは、過去 1 年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか？

1. よく参加した
2. ときどき参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

回答欄

問7 あなたは、地域で培われてきた風習や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問8 あなたは、ご自身の住んでいる地域で、大学や民間企業などのさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われますか？

1. 活発に行われている
2. ある程度行われている
3. どちらともいえない
4. あまり行われていない
5. 全く行われていない

回答欄



◆子育てについてお聞きします

問 9 あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 10 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 11

あなたは、児童数や生徒数、施設の状況を踏まえ、子どもたちが適切な教育環境で学んでいると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 12

あなたは、南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

◆医療・福祉についてお聞きします

問 13 あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 14 あなたは、南丹市が高齢の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 15 あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 16 あなたは、南丹市が妊婦の方にとって、安心して暮らせるまちだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

◆商業や生活環境についてお聞きします

問 17 あなたは、南丹市の商店街がにぎわっていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 18 あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか？

1. そうしている
2. どちらかといえばそうしている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそうしていない
5. そうしていない

回答欄

問 19 あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 20 あなたは、南丹市において、美しい景観が適切に守られていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄



問 21

あなたは、南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

◆防災についてお聞きします

問 22

あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 23

あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか？

1. 十分に準備している
2. ある程度準備している
3. 意識はしているが準備していない
4. まったく準備していない

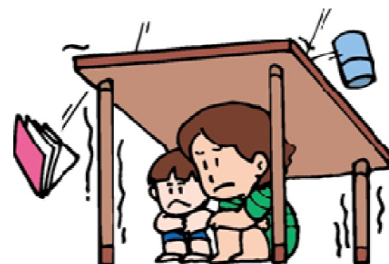
回答欄

問 24

あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄



◆人権問題についてお聞きします

問 25 世の中には、まだまだ性別や国籍、障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これらの差別が減ってきているとお感じですか？

1. 減ってきていると感じる
2. 多少減ってきていると感じる
3. どちらともいえない
4. あまり減ってきているとは思えない
5. 減ってきてはいない

回答欄

問 26 あなたは、過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか？

1. よく参加した
2. 一度は参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

回答欄

◆行政サービスについてお聞きします

問 27 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
そう思わない理由は何ですか？具体的にお教えてください。

問 28

あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATV などを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか？

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

回答欄

問 29

市役所のサービスを利用する際、どこをよく利用しますか？

1. 本庁
2. 八木支所
3. 日吉支所
4. 美山支所

回答欄

問 30

よく利用されるサービスは何ですか？《複数回答可》

1. 証明書の発行（住民票・戸籍など）
2. 相談・申請関係（税）
3. 相談・申請関係（福祉）
4. 相談・申請関係（農林漁業・商工業・道路河川・地域振興など）
5. その他（ ）

回答欄

問 31

窓口サービスの待ち時間、対応時間はいかがですか？

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. どちらかといえば悪い
4. 悪い

回答欄

問32 目的の窓口の場所、案内表示は、わかりやすいですか？

- | |
|--|
| |
|--|

問 33 あなたは、南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか？ 《主なものを3つまで選んでください》

- | | |
|--|--|
| | |
|--|--|

問 34 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足しておられますか？

- | | |
|--|--|
| | |
|--|--|

4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。
どのような点が不満足ですか？具体的にお教えてください。

.....

.....

.....

◆まちづくりについてのご意見などをお聞きます

問 35

南丹市の今後のまちづくりについてご提言、ご意見がありましたらお書きください。
また、行政全般についてお気づきの点がありましたらお書きください。
※この調査の性格上、頂いたご意見に対し、個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

.....

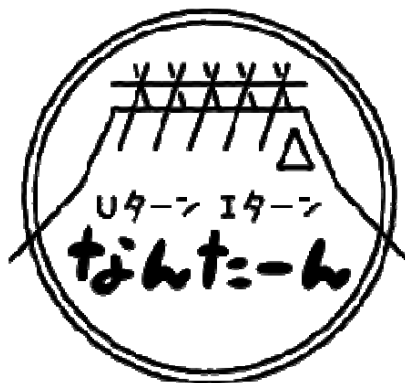
.....

.....

.....

.....

.....



アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。